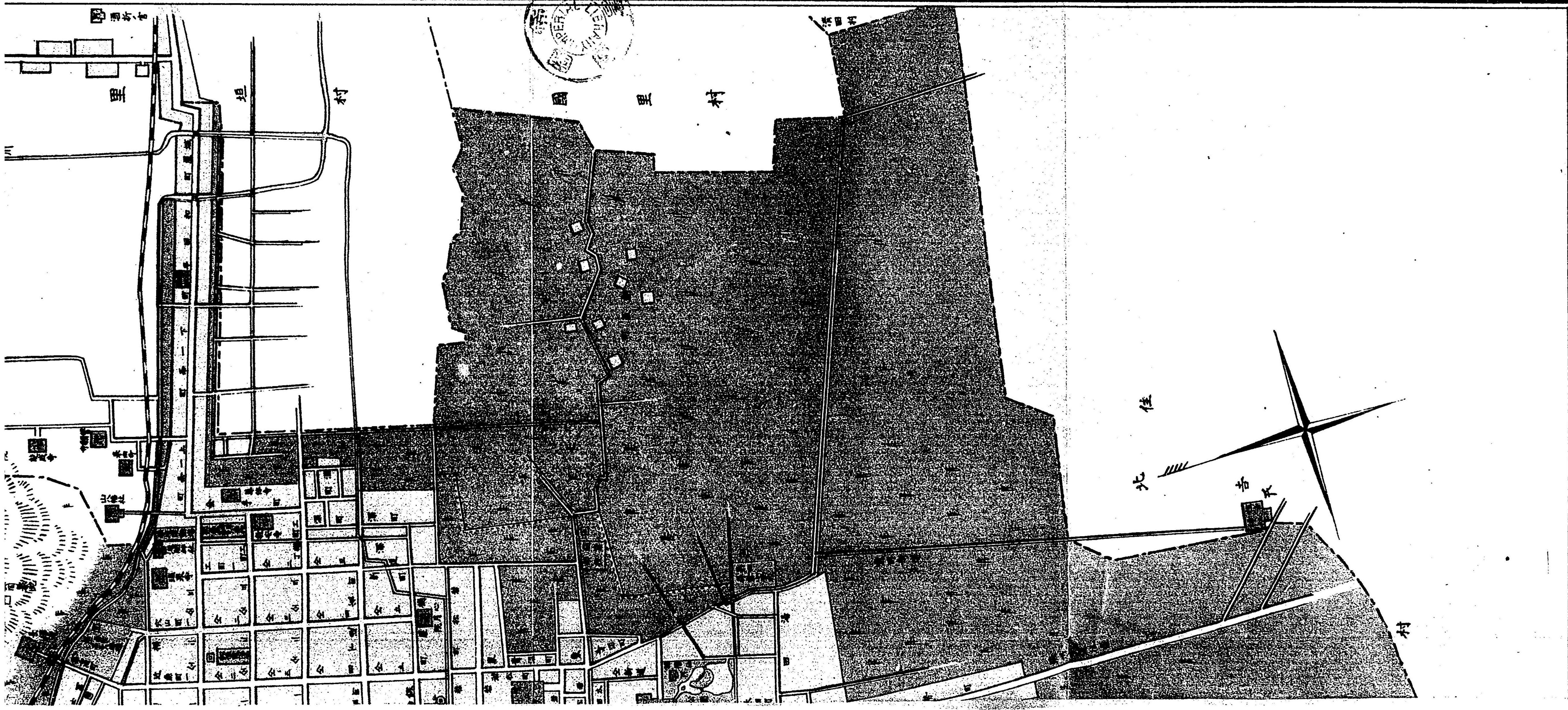


# 改正甲府市街圖

一 火 分 万



里 坦 村

國 里 村

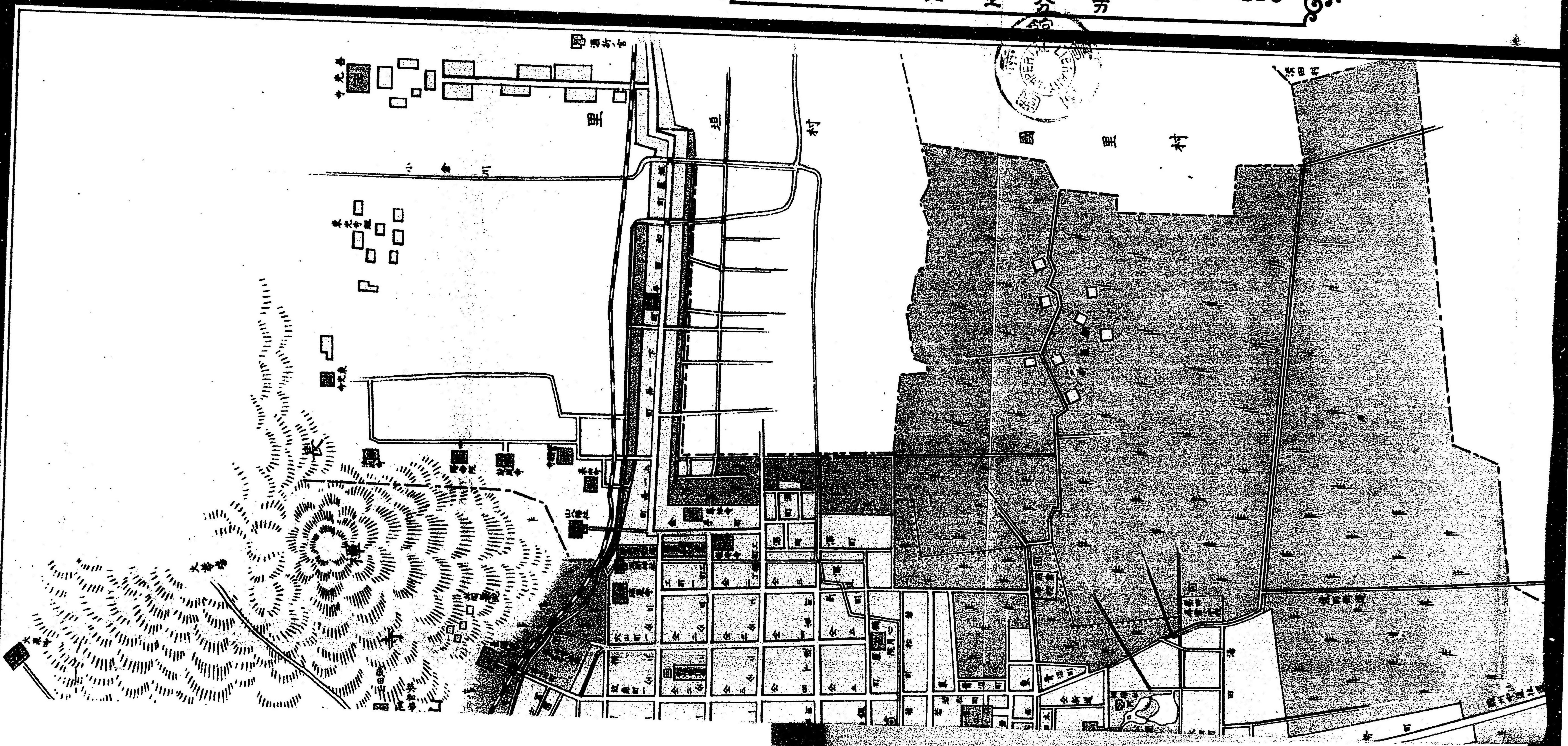
北 佳

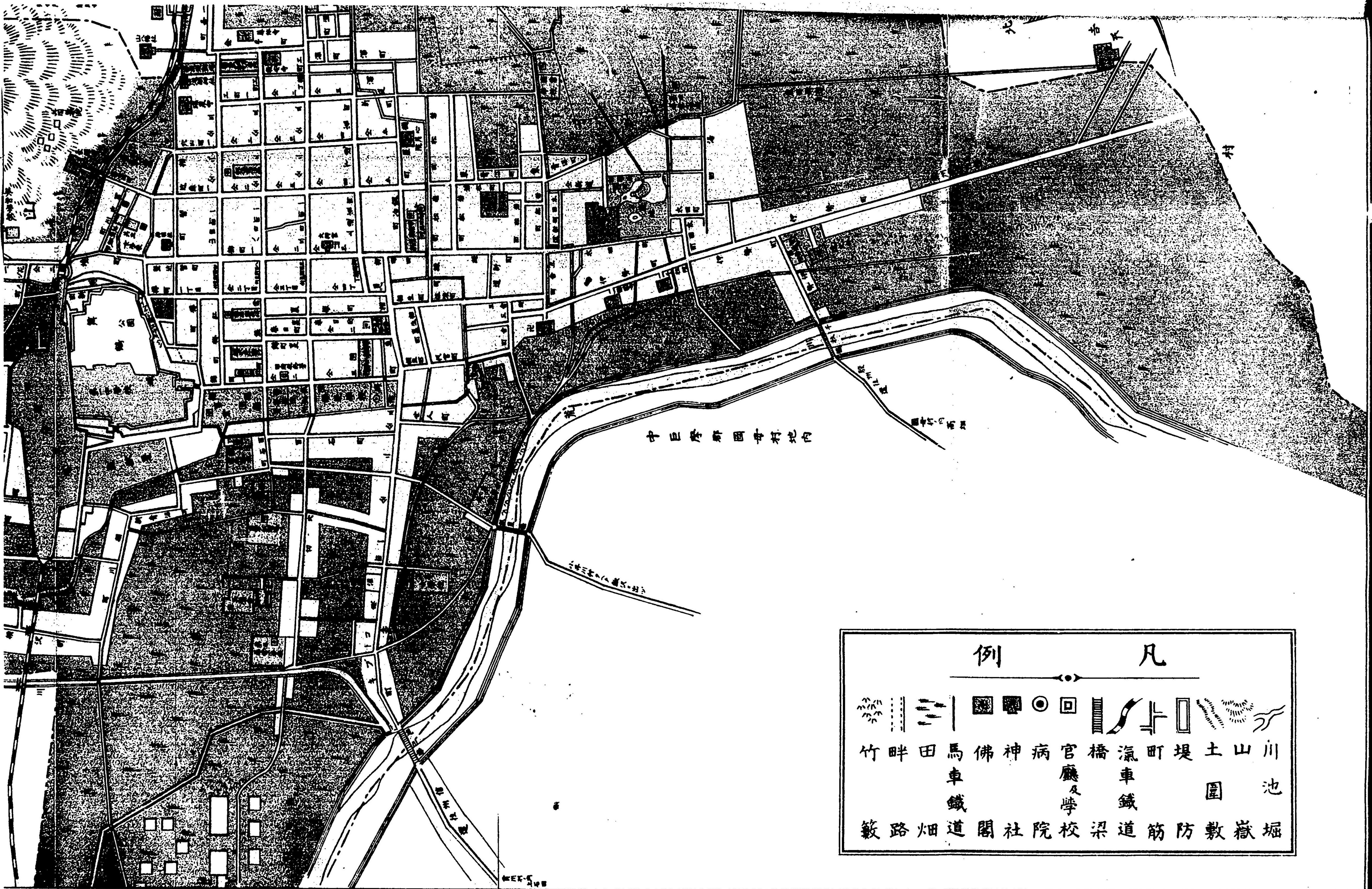
吉 木

村

# 改正甲府市街圖

一分





例 凡

- |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |  |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|--|
|   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |  |
| 竹 | 畔 | 田 | 馬 | 佛 | 神 | 病 | 官 | 橋 | 汽 | 町 | 堤 | 土 | 山 | 川 |   |  |
| 藪 | 路 | 畑 | 車 | 閣 | 社 | 院 | 校 | 梁 | 道 | 筋 | 防 | 敷 | 嶽 | 堀 | 池 |  |



中巨摩郡國母村地内

千塚村  
塩部内

竹	畔	田
籾	路	畑



甲府市統計一斑

第一回

明治  
37 7 16  
内交

(4.4  
261

甲府市統計書  
第一編

緒言

本統計書編纂ハ茲ニ其端緒ヲ開キタルモノニシテ調査  
上努メテ有益ノ事項ヲ集擇シ精確ヲ期スルト雖モ往々  
豫定ノ材料ヲ供給スルコト能ハス故ニ各事項中精粗宜  
シキニ適ハサルノ憾アルノミナラス尙未タ蒐輯事項ノ  
不備欠漏ハ蓋シ免カル可カラス之レ等ハ漸ヲ逐ヒ更改  
追補他日ニ完成ヲ待チ以テ正鵠ヲ期スル所アルベシ

明治三十七年六月

甲府市役所

# 甲府市統計一斑

## 凡例

- 一 本書ハ明治三十五年及三十六年中ノ事實ヲ調査スルヲ以テ主トス其會計ニ屬スルモノハ三十五年度ニ據リ豫算ニ屬スルモノハ三十六年度分ヲ登載ス
- 一 本書中前數年ニ遡リ比較對照ヲ要スト認ムルモノハ特ニ之ヲ調査シ或ハ一表トシ或ハ表末ニ添記シ以テ事物ノ増進消長如何ヲ知悉ナラシムル爲メ掲載セリ又本編成ルニ際シ得タル最近ノ事實ハ努メテ之ヲ併載ス
- 一 本書ハ部門ヲ分テ左ノ綱目トス
  - 一 市勢、土地、戶口、兵事、教育、社寺、農業、商業、銀行及會社、工業、土木、交通及運輸、衛生、警備、教育及褒賞、財政及負擔、議會、市職員及文書、市及附近名勝古蹟畧記

一 本書中各表目ノ下明治何年トアルハ一週曆年明治何年度トアル  
 ハ會計年度何年何月トアルハ其月ノ初日何年何月何日トアルハ  
 其日ノ現在ナリトス  
 一 數位ハ概ネ石、圓、斤、貫、町及千位百位ニ(、)ヲ附シ其以下ノ端數ヲ  
 示シ又事實ナキモノハ(イ)ヲ附ス

甲府市統計一斑

目次

● 市勢	—
● 土地	—
(一) 市廳ノ位置	—
(二) 市ノ面積及廣袤	—
(三) 官民有地反別地價	—
(四) 御料地反別及木竹數	—
(五) 民林反別	二
(六) 鑛泉	三
● 戶口	—
(七) 現住戶數及人口	四



(八)	戶口増殖ノ有様	五
(九)	本籍人族別	六
(一〇)	出生死亡	六
(一一)	出生死亡累年比較	七
(一二)	結婚、離婚、配偶者	八
(一三)	死亡者年齢別	八
(一四)	一ヶ年間出入人口	九
(一五)	居住外國人	〇
(一六)	海外渡航人員	〇
(一七)	赤十字社員	一
● 兵 事		
(一八)	壯丁	二
(一九)	兵員	二

(三〇)	獎兵義會	二
● 教 育		
(三一)	人口戸數及學齡兒童比較	二
(三二)	學齡兒童	二
(三三)	小學校生徒	三
(三四)	小學校卒業生徒	四
(三五)	小學校職員俸給比較	四
(三六)	小學校授業料	四
(三七)	師範學校附屬小學校	五
(三八)	市立商業學校生徒數	五
(三九)	市立商業學校商議員、經濟、財產	五
(四〇)	小學校經濟及財產	六
(四一)	市立學校職員ノ數	六

(三二)	學校醫	一六
(三三)	各種學校	一七
(三四)	幼稚園	一九
(三五)	圖書館	一九
(三六)	新聞及雜誌	二一
(三七)	教育費累年比較	二一
● 社 寺		
(三八)	神社	二三
(三九)	寺院	二三
(四〇)	神官、住職	二三
(四一)	著名神社寺	二三
● 農 業		
(四二)	農家ノ戸數及人員	二六

(四三)	自作小作地ノ反別人員	二六
(四四)	耕地作付不作付反別	二七
(四五)	米ノ收穫高及植付反別	二七
(四六)	農作物收穫高及反別	二八
(四七)	桑園	二八
(四八)	養蠶	二九
(四九)	蠶糸及真綿	二九
(五〇)	蠶卵紙	二九
(五一)	獸醫及蹄鐵工	三〇
(五二)	家畜	三〇
(五三)	屠殺	三〇
(五四)	牛乳搾取	三一
● 商 業		

(五五)	國稅營業者	三三
(五六)	縣稅營業者	三三
(五七)	商業者	三五
(五八)	同業組合	三八
(五九)	市場ノ問屋仲買及賣買金高	三八
(六〇)	諸雇賃錢	三九
(六一)	重要物品相場	四一
(六二)	木材相場	四二
(六三)	日用品平均相場	四二
● 銀行及會社		
(六四)	銀行	四三
(六五)	會社	四五
(六六)	質屋	四五

(六七)	銀行及質屋金利歩合	四六
● 工業		
(六八)	工場	四六
(六九)	機業者及織物産額	四七
(七〇)	綿糸紡績ノ一	四七
(七一)	綿糸紡績ノ二	四八
(七二)	綿糸ノ産額	四八
(七三)	度量衡製作所並販賣所	四八
(七四)	水晶細工品産額	四九
(七五)	酒醬油其他醸造物	四九
(七六)	職工數	五〇
● 土木		
(七七)	道路橋梁	五四

(七八) 里道新開ノ坪數延長費金  
(七九) 市土木費

● 交通及運輸

(八〇) 官公衙  
(八一) 運輸會社  
(八二) 運送貨錢  
(八三) 郵便電信  
(八四) 電燈  
(八五) 郵便爲替及貯金  
(八六) 鐵道旅客及貨物

● 衛生

(八七) 醫師及產婆  
(八八) 藥劑師其他

五五  
五五

五六

五八

五八

五九

五九

六〇

六〇

六〇

六一

(八九) 傳染病及死亡者

(九〇) 病院

(九一) 死亡者類別

(九二) 種痘人員

(九三) 種痘所

(九四) 衛生組合

(九五) 汚物掃除區域

(九六) 汚物搬出人夫其他

(九七) 監視吏員巡回中注意件數

● 警備

(九八) 盜難ニ罹リシ家屋及人員

(九九) 盜難ニ罹リシ財産

(一〇〇) 途上ニテ保護セラレシ人員

六一

六一

六二

六三

六三

六四

六八

六八

六九

六九

七〇

七〇

(二〇一)	火災ニ罹リシ家屋	七〇
(二〇二)	消防	七〇
(二〇三)	集會及演說	七一
(二〇四)	民有銃砲及狩獵人員	七一
(二〇五)	貸座敷及娼妓	七一
● 教育及褒賞		
(二〇六)	究民及棄兒	七二
(二〇七)	受賞者成績及賞品ノ種類	七二
● 財政及負擔		
(二〇八)	市ノ歲入歲出	七二
(二〇九)	市稅累年別	七四
(二一〇)	市費歲入出累年比較	七五
(二一一)	國縣稅及市稅	七六

(二一二)	縣稅戶數割及市稅戶別割一戸平均負擔額	七七
(二一三)	市有財產	七八
(二一四)	區有財產及管理區域	七九
● 議會		
(二一五)	帝國議會	八〇
(二一六)	縣會	八一
(二一七)	市會及區會	八一
(二一八)	會議日數及件數	八二
● 市職員及文書		
(二一九)	市吏員	八二
(二二〇)	市吏員俸給	八二
(二二一)	分課	八四
(二二二)	文書收受及發送件數	八四

市及附近ノ名勝古蹟略記

(一) 古蹟

- 甲府城 八六
- 古府城趾 八六
- 甲府陣屋跡 八七

(二) 勝地

- 公園 八七
- 愛宕山 八七
- 御岳新道 八八

(三) 神社及佛閣

- 酒折宮 八九
- 八幡神社 九三
- 善光寺 九三

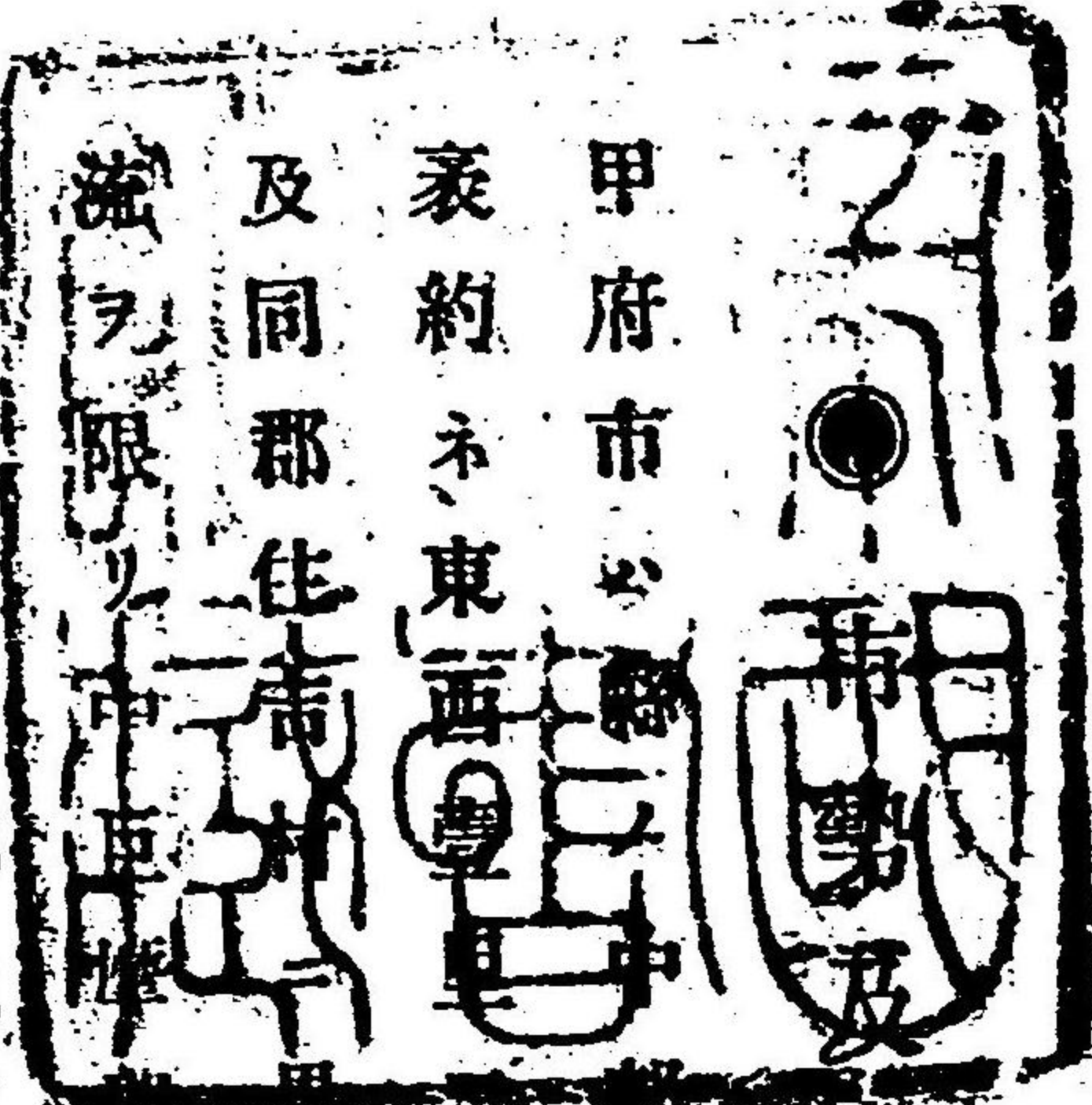
大泉寺

九三

目次終

甲府市統計一斑

沿革



甲府市ハ一都會ヲ爲シタル樞要ノ地ニシテ其廣  
 袤約ホ東西ニ丁南北壹里六町而シテ東南ハ西山梨郡里垣村  
 及同郡住吉村ニ隣接ス西北ハ荒川ノ中  
 流ヲ限リ中巨摩郡池田村松島村ノ諸村ト相接続ス  
 村及中巨摩郡池田村松島村ノ諸村ト相接続ス  
 甲斐國ノ府城ハ往昔古府ト稱スル所ニアリテ武田信虎ヨリ世々  
 是ニ居リ勝頼織田氏ノ爲メニ滅サレタル後徳川家康來テ一條小  
 山ニ甲府城造築工事ヲ起シ次テ加藤光泰來任シ其工事ヲ繼續ス  
 ルモ成工ニ至ラス文祿三年淺野長政本國ヲ領スルニ方リ其臣淺  
 野長吉城代ト爲リ大ニ本城ノ事業ヲ興シ其工事略ホ成ルニ及ン

テ古府ノ民戸ヲ茲處ニ移シ州治ヲ司トルノ主府ト爲ス是レ實ニ  
甲府市ノ濫觴タリ爾後再ヒ徳川氏ノ領スル所トナリ慶應三年ニ  
至ル迄凡百四十四年間甲府ニ勤番支配ヲ置キ番士ヲシテ城ヲ守  
リ兼テ市政ヲ掌ラシム明治維新ノ際甲府ニ鎮撫府ヲ置カレ其後  
之ヲ改メテ甲斐府トシ或ハ甲府縣ト爲シ明治四年十一月亦改メ  
テ山梨縣ト爲ス同五年甲斐國四郡ヲ八十區ニ分チ甲府ハ之ヲ二  
區ニ分書セラレ同十一年ニ至リ其區畫ヲ廢シ更ニ四郡ヲ分書シ  
テ九郡ト爲シ郡制ヲ施行モラレ當時甲府ハ西山梨郡役所ノ所管  
ニ屬セリ降ツテ同二十二年七月甲府ニ接續セル稻門飯沼ノ兩村  
及上府中組ノ總町ヲ合併シ一區域ト爲シ市制ヲ實施シテ甲府市  
ト稱シ現在ノ町數七十五ヶ町アリ爾來戸口年ヲ逐ツテ増殖シ今  
ヤ戸數八千貳百餘人口四万三千餘ヲ有シ殷賑タル一都市ヲ爲シ  
總テノ政治機關此ノ處ニ在リ頗ル重要ノ地位ヲ占メ百貨輻湊旅

客ノ來往頻繁ヲ極ム同三十六年六月中央鐵道ノ開通セララル、ヤ  
運輸交通上一層ノ利便ヲ得今日ノ繁盛ヲ觀ル



● 土地

(一) 市廳ノ位置

名 稱 位 置 東 經 北 緯

甲府市役所 甲府市大字柳町七十二番地 一三八度三四分二九秒 三五度四〇分〇〇

(二) 市ノ面積及廣表

面積	廣		表	
	方 位	名 里	方 位	名 里
三分八厘	極 西	飯田町	極 北	壹里六町
	極 東	城屋町	極 南	伊勢町
		壹里貳町		新柳町

(三)

官民有地反別地價 (三十六年中)

地 目	官 有		民 有	
	反 別	地 價	有 租 地 反 別	免 租 地 反 別
縣用地	三三三	四二八	一	一〇七九三三七
公用地	三二八	一一一	二八七三三二一	五九二一
	田	墳墓	一〇、七六七八六	



連香温泉	雀下町連	反應弱アルカリ性、格魯兒尿酸、尿酸、尿酸、安母尼亞、石灰、苦土、鹽土酸化鐵。	貧血病、瘧疾、腎臟、貧血性消化不良、慢性下痢、快腹期、遲緩去ルモノ、一般心經病、月經不調、依下昆垣里、歐私的里、萎黃病、
富士温泉	愛宕町	六六	皮膚病、疥癬、瘧疾、慢性傷風、慢性痛風、慢性潰瘍、
富士温泉	愛宕町	六六	反應弱アルカリ性、硫化水素、重碳酸鹽及炭酸鹽、コロイド、硫酸、硫酸、鐵、鹽土、石灰、アンモン、ソルト、カク。

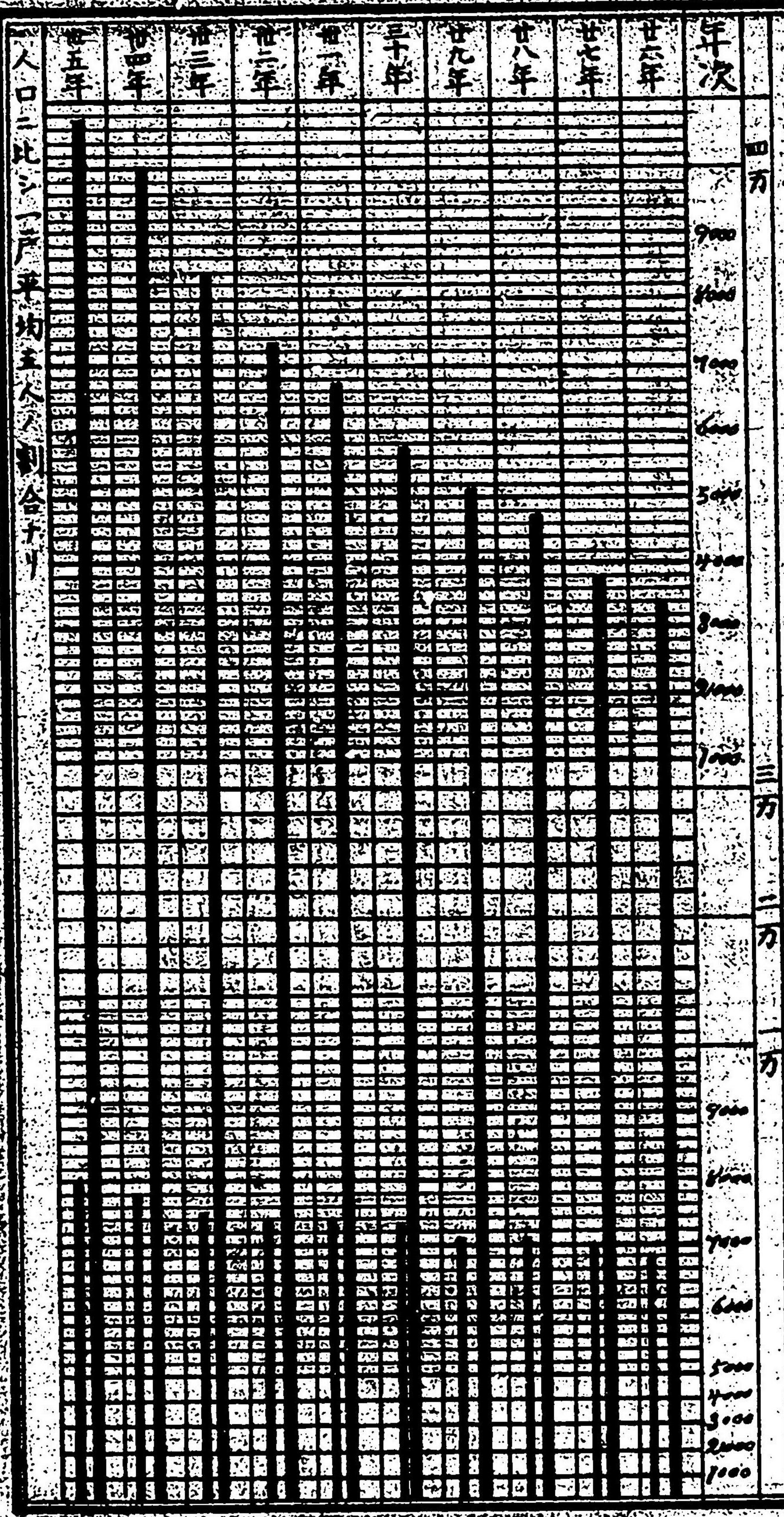
● 戸口

三十五年十二月卅一日

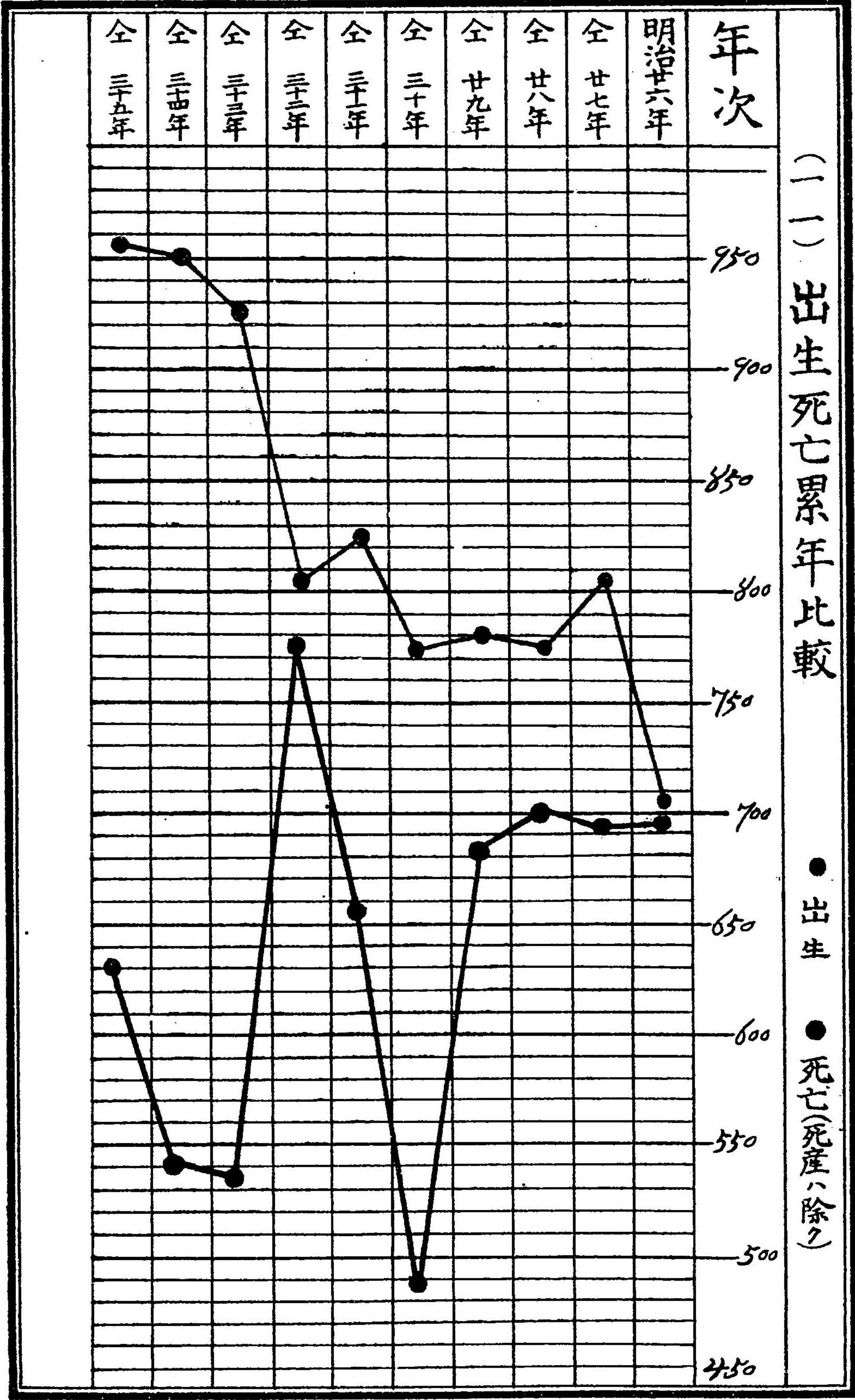
△印ハ外國人

本六	籍	人	寄	留	人	計	現住戸數
男三	女二	計五	男三	女二	計五	計一六	四一〇
三三七	七三三	三三三	六九九	四四二	四四二	三三三	四二〇
七	九〇三						

(八) 戸口増殖ノ有様



11 戸人



七

(九) 本籍人族別

三十五年十二月卅一日

族籍	戶主		族一乘		兒		計
	男	女	男	女	男	女	
士族	二〇七	一一二	三八六	五四六	一	一	一、二五二
平民	四、八七二	六九一	八、一〇九	三、五〇八	二	一	二六、一八二
合計	五、〇七九	七〇三	八、四九五	三、〇五四	二	一	二七、三三三

(一〇) 出生死亡

三十五年十二月卅一日

本籍	出生		死亡		死産數
	男	女	男	女	
本籍	三、八九三	九四九	四、八三三	四、七二二	五三二
非本籍	九四	九一	四八三	二七三	九八
合計	四、〇二七	一、〇四〇	五、三一六	五、〇〇五	六三〇

六

(一一)

結婚、離婚、配偶者

三十五年十二月卅一日

結

婚

離

婚

年末現在配偶者

本籍	非本籍	計	本籍	非本籍	計
二二二	一	二二三	三四	一	三四
			五、八〇〇		

(一二)

死亡者年齢別

三十五年十二月卅一日

年齢	年 齡		年 齡	年 齡	
	男	女		男	女
自一歳至五歳	一一一	九六	二二七	一三	一二
自六歳至十歳	一一	一〇	二二	一一	八
自十一歳至十五歳	五	五	一〇	二二	一九
自十六歳至二十歳	二二	九	三一	二八	一〇
自二十一歳至二十五歳	一〇	一七	二七	一七	八
自二十六歳至三十歳	一一	一六	二八	一八	一二
自三十一歳至三十五歳	一一	一八	三〇	九	一〇
計	一一一	九六	二二七	一三	一二
自四十六歳至五十歳					二五
自五十一歳至五十五歳					一九
自五十六歳至六十歳					四一
自六十一歳至六十五歳					三八
自六十六歳至七十歳					二五
自七十一歳至七十五歳					三〇
自七十六歳至八十歳					一九

(一四)

一ヶ年間出入人口

三十五年十二月卅一日

出 入 別	男		女	
	男	女	男	女
自三十六歳至四十歳	七	二四	三一	三
自四十一歳至四十五歳	八	一四	二二	〇
計	三三〇	三〇二	六三二	五
自八十一歳至八十五歳				九
自八十六歳至九十歳				五
自九十一歳至九十五歳				五
自九十六歳至一百歳				一
自一歳至五歳	一一〇	九〇	一一三	二二七
自六歳至十歳	一一〇	八〇	一一〇	一
自十一歳至十五歳	四六	四六	四六	五
自十六歳至二十歳	九	九	九	四
自二十一歳至二十五歳	六	六	六	一
自二十六歳至三十歳	一、四三八	一、四三八	一、四三八	一、四五九
自三十一歳至三十五歳	一、二六四	一、二六四	一、二六四	一、五四〇
計	一、〇九〇	一、〇九〇	一、〇九〇	一、二二三
他府縣へ出寄留				二二七
他市町村へ出寄留				二二七
陸海軍在營在艦				一
囚人懲治人				五
在台				四
在外				一
計	一、〇九〇	一、〇九〇	一、〇九〇	一、二二三
他府縣ヨリ入寄留				二二七

ノ部	他市町村ヨリ入寄留		七、二五三	六、三六〇
	計		八、四一七	七、九〇〇
(二五)	居住外國人		三十六年中	
	國籍	男	女	計
佛蘭西		一	一	
加奈太		一	二	
(二六)	海外渡航人員		三十六年中	
種別	北米	合衆國	支那	朝鮮
	商業用	工業用	商業用	商業用
本年中渡航者	五	一	三	一
本年中歸國者	二	一	一	一
本年中在留者	一	一	一	一
計	八	一	七	一

(二七)	赤十字社員		三十六年末	
委員部役員	委員長	事務員	委員	計
	一	四	一	八七七
委員分員區	計	有功特別	終身	正贊助
	二五	一	六	五
(二八)	壯丁	三十六年中		
適齡	二四九人	猶豫	三一人	
(二九)	兵員	三十六年中		
陸軍	現役兵	現役兵	現役兵	現役兵
	一	一	一	一
海軍	現役兵	現役兵	現役兵	現役兵
	二	一	一	三
合計	四、八四三	四、八四三	四、八四三	四、八四三
(三〇)	獎兵義會			

職

員

會

員

會長	副會長	評議員	幹事	委員	計	贊助	通常	特別	名譽	計
一	一	一二	二	四五	六一	二二九	一八〇	二〇	一	四二九

本會ハ三十六年十月ノ創立ニ係リ同年十二月廿五日現在ヲ掲ク

● 教 育

(二二)

人口戸數及學齡兒童比較

三十五年度

現住人口	戶數	學齡兒童	現住人口百戸數一戸
男 二〇、五五八	男 七、九〇三	男 三、四七九	人ニ對スル
女 二〇、二九八	女 七、九〇三	女 二、八五〇	ニ對スル
計 四〇、八五六	計 一五、八〇六	計 五、九七九	學齡兒童

(二三)

學齡兒童

三十五年度

種別	男	女	計
尋常小學校ノ教科ヲ修ムル者	一、二八六	一、二五三	二、五三九
尋常小學校ノ教科ヲ卒ヘタル者	一、三六七	一、〇九六	二、四六三

學

計

二、六五三

二、三四九

五、〇〇二

不

猶

疾 病

五

五

一〇

就

免

疾 病

五

四

九

學

計

九一

一一五

二〇六

(二三)

小學校生徒

三十五年度

種別	尋常	高等	等	合計
市立小學校生徒	一、四二三	一、三七三	二、七九六	五四〇
市立小學校入學生徒	三八七	四五〇	八三七	二二三
合計	一、八一〇	一、八二三	三、六三三	七七三
				五四八
				一、三三二
				四、九五四

(二四) 小學校卒業生徒				三十五年		三十五年	
尋常		高等		平均		均額	
男	女	計	男	女	計	男	女
二五〇	二二四	四六四	一六八	五二	五六	一〇八	一一八
		就學生徒百人ニ對スル比例					就學生徒百人ニ對スル比例
(二五) 小學校職員俸給比較				三十五年			
最多額		最寡額		平均額		均額	
種別	正教員	准教員	正教員	准教員	正教員	准教員	均額
男	女	男	女	男	女	男	女
二四,000	一六,000	一三,000	八,000	一〇,000	六,000	一五,233	一三,000
二四,000	一六,000	一三,000	八,000	一〇,000	六,000	一五,233	一三,000
高等科	一八,000	一〇,000	一六,000	三,000	一〇,000	一三,375	一三,375
小學校授業料		三十五年		授業料免除兒童			
最多月額		最寡月額		平均月額		全額免除一部免除	
種別	授業	料	全額免除	一部免除			

(二七) 師範學校附屬小學校				三十五年		三十五年	
尋常		高等		平均		均額	
男	女	男	女	男	女	男	女
一〇〇	五〇〇	五〇〇	五〇〇	七五	一一	一一	三九三
(二八) 市立商業學校生徒數		三十六年一月現在		三十五年			
第一學年		第二學年		計		計	
四三	三六	五四	一三三				
(二九) 市立商業學校商議員經濟及財產				三十五年			
第一學年		第二學年		計		計	
四三	三六	五四	一三三				
卒業者		生徒		計		計	
二八	一一二	七	九	六六	三七三	六五	三七三
種別		尋常		高等		等	
男	女	男	女	男	女	男	女
一三八	一〇二	七七	六六	七	九	六六	三七三



商議員		收入	支出	校地反別	校舍坪數	金員					
		一〇三、二五六圓	〇〇〇、八六二圓	〇〇〇	九反四一〇	三三五坪					
		(三〇) 小學校經濟及財產									
		三十五年度									
		(三一) 市立學校職員ノ數 [×ハ兼務]									
		三十六年中									
		(三二) 學校醫									
		三十六年中									
校名		校長	正教員	准教員	代用教員	囑托教員	教諭	教諭心得	助教諭	書記	計
校名		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
小學校	× 一		三三三	一九二	八二	一	一	一	一	一	一
商業校	一	一	一	一	一	× 一五	一	一	四	× 一	一
合計	三	五三	一四	一〇	一	六	一	四	二	九三	一四
校地反別		校舍坪數		積立金		收入		支出		校地反別	
四、九一五圓		〇〇〇、一八、二八三圓		〇〇〇、三三三反		四二八、五二二、一九四坪		五八一		八四三圓	

十六

校名		所在地	創立年	修學年限	男員	女員	年手當
甲府商業學校		帝國醫科大學卒業 第一高等中學醫學部卒業			一	一	五〇圓
甲府第一尋常小學校		醫學開業免狀所有			一	一	四五〇〇
甲府第二尋常小學校					一	一	四五〇〇
甲府第一尋常小學校					一	一	四五〇〇
甲府第二尋常小學校					一	一	二五〇〇
甲府第三尋常小學校		帝國醫科大學卒業			一	一	二〇〇〇
甲府第四尋常小學校					一	一	二〇〇〇
各種學校					三十六年中		
縣立山梨縣師範學校		錦町	明治八年	男四學年 女三學年			
縣立山梨縣第一中學校		舞鶴城內	全九年	五年			

十七

縣立山梨縣高等女學校	壽町	全三十六年	四學年
市立甲府商業學校	東青沼町	全三十四年	三學年
市立甲府第一尋常小學校	富士川町	全五十五年	四學年
市立甲府第二尋常小學校	工町	全五十五年	四學年
市立甲府第一尋常小學校	相生町	全九九年	四學年
市立甲府第二尋常小學校	新紺屋町	全六六年	四學年
市立甲府第三尋常小學校	穴切町	全六六年	四學年
市立甲府第四尋常小學校	湯田町	全六六年	四學年
私立普通學校	伊勢町	全二十三年	四學年
私立山梨英和女學校	百石町	全二十二年	豫科三學年 本科四學年
私立有朋義塾	同町	全二十七年	甲乙各二學年
私立玉聲裁縫女學校	穴切町	全三十三年	本科甲五ヶ月 乙五ヶ月
私立山梨裁縫學校	愛宕町	全三十三年	本科二ヶ月 速成科六ヶ月 豫備科一ヶ月

私立中川女學校	富士川町	全二十九年	本科三ヶ年 專修科二ヶ年 速成科七ヶ月
---------	------	-------	---------------------

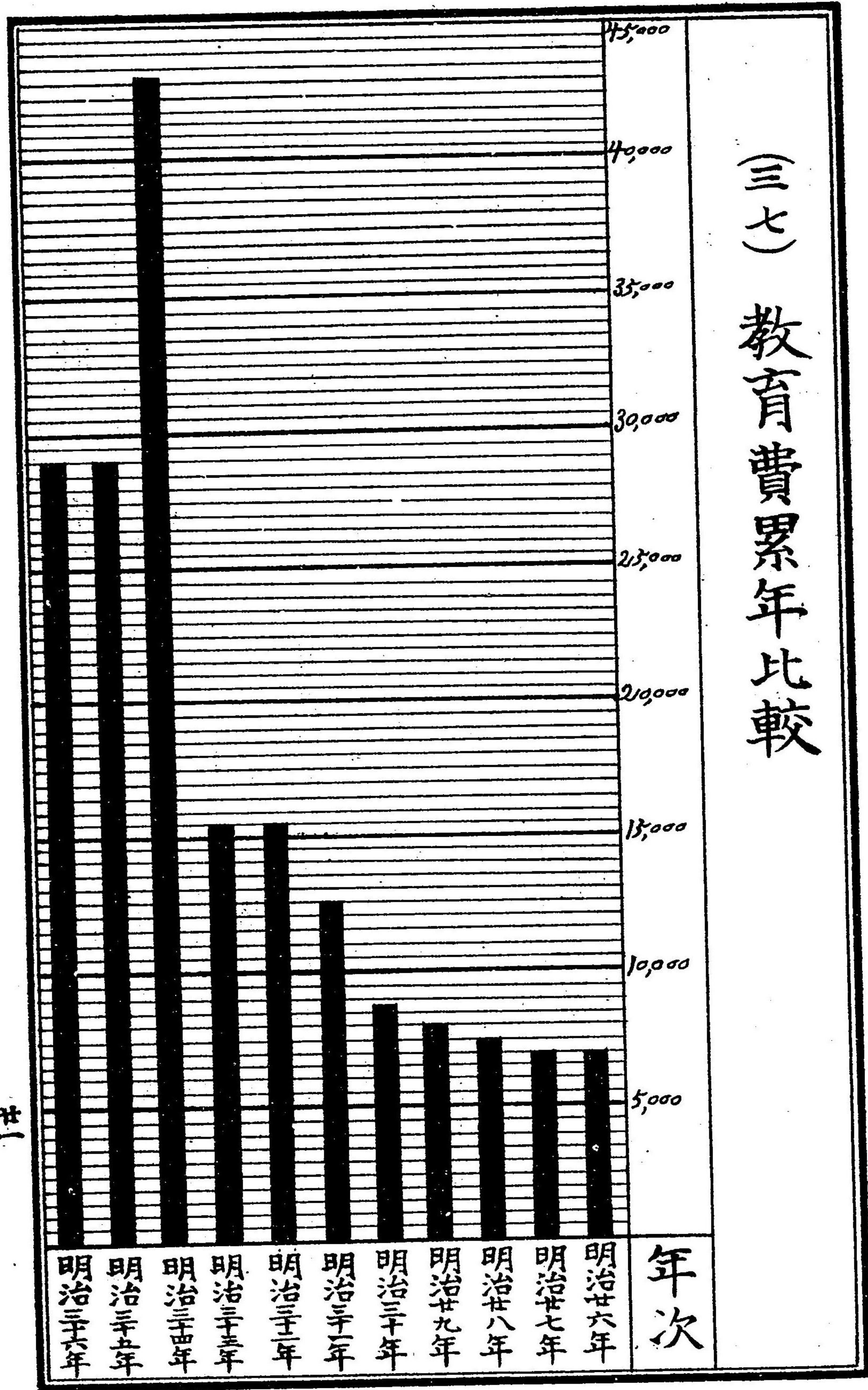
(三四) 幼稚園		三十五年未	
名	所在地	創立年	保育年限
私立進徳幼稚園	紅梅町	明治卅一年	二二
			二九
			四一
			一四
			一六
			三四三
			五〇七

(三五) 圖書館		三十五年中	
名	稱	所在地	創立年
山梨教育會附屬私立圖書館		櫻町	明治卅三年
			三、一七二
			五四
			三五五
			二〇〇

(三六) 新聞及雜誌		三十五年中	
名	稱	位	置
山梨日日新聞		百石町	明治五年七月
			每
			日
			金貳錢



廿一

活 兒 童	警 世	山 梨 縣 農 會 報	山 梨 教 育 會 雜 誌	日 本 衛 生 週 報	山 梨 時 報	山 梨 民 報	峽 中 日 報	甲 斐 新 聞
常 盤 町	愛 宕 町	錦 町	錦 町	佐 渡 町	相 生 町	錦 町	錦 町	紅 梅 町
明治三十四年十一月	明治三十年六月	明治三十一年十一月	明治廿七年十二月	明治三十四年十二月	明治三十三年二月	明治廿七年十一月	明治二十一年六月	明治三十三年三月
每 月 一 回	每 月 三 回	每 月 廿 五 日	每 月 廿 八 日	每 二 ノ 日	每 夕	全	全	全
金 六 錢	金 五 錢	金 五 錢	金 拾 錢	金 五 錢	金 壹 錢	金 貳 錢	金 貳 錢	金 壹 錢 五 厘

二十

●社寺

		(三八) 神社		三十六年中	
		郷社		計	
		社	村	社	境外無格社
		三	五	一四	三三三
		郷社		境内無格社	
		三		三三三	
		(三九) 寺院		三十六年中	
		宗別		計	
		眞言	淨土	臨濟	曹洞
		八	二二	一六	七
		(四〇) 神官、住職		三十六年中	
		職別		計	
		郷社	村	社	境外無格社
		三	二	一	二
		境内無格社		二	
		計		七	

		(四一) 著名ノ社寺		緒	
		名 稱		由	
		甲斐奈神社	郷社	甲府市	工町
		穴切神社		全 穴切町	
		稻積神社		全 太田町	
		職別		計	
		眞言	淨土	臨濟	曹洞
		三	五	六	六
		境内無格社		二	
		境内無格社		一〇	
		計		一三三	
		<p>勿々理姫命木花開邪姫ノ命ヲ祀ル延喜式内ノ古社タリ上世甲斐奈山上ニ鎮坐セリ永正年間武田氏要地タルヲ以テ藏田ニ遷ス後チ天文ノ末ニ至リ該山ノ南麓ニ遷シ文祿年間淺野氏築城ノ時ニ當リ三タヒ現地ニ遷祀ス東青沼淺間神社ヲ合祀シ當城ノ鎮守トス慶長年間徳川氏ヨリ社領ヲ附セラレシモ維新ニ至リ上知トナリ明治六年郷社ニ列ス</p> <p>大己貴命ヲ祀ル古來ヨリ口碑ニ元明天皇ノ御宇當國湖水タリシヲ切リ開クニ際シ奉祀セリト明治六年郷社ニ列ス</p> <p>宇氣母智命ヲ祀ル社ハ甫メ甲府城地タル丸山ニ在リ其地ヲ稻積ノ莊ト稱シ中昔甲斐源氏一條氏館スルヤ鎮守トシテ崇敬セリト後チ一蓮寺ノ起ルニ當リ其所轄ニ合セリ文祿年間淺野氏築城ノ時該寺ト共ニ現地ニ遷サル現今城中稻荷郭ノ稱アル其趾タリ明</p>			

豐受神社	無格社	全	治九年郷社ニ列ス
神明社	全	柳町	豐受比賣命ヲ奉祀ス往昔伊勢外宮ヨリ遷祀セリ毎歳節分ヲ以テ例祭ヲ行フ
尊体寺	浄土宗	全 金手町	天照皇大神ヲ奉祀ス中昔武田氏躑躅ヶ崎在城ノ時上府中元柳町ニ鎮坐ス淺野氏築城ノ際該町ノ住民皆現地ニ轉セシムルニ當リ全ク遷坐ス毎歳節分ヲ以テ例祭ヲ行フ
教安寺	浄土宗	全 金手町	真向三尊如來ヲ安置ス本尊三尊佛画像ハ唐ノ善導大師ノ寫セルモノニテ寛永年間西蜀ノ導隆來朝ニ當リ提携シ久シク禁裡ニ藏安セリ后ヲ清水ニ遷シ武田信虎ニ傳ハル大永元年古府城中ニ合ヲ起シ源正院ト號シ安置ス開山忠蓮社弁譽尊体知晃大童子タリ天文年間功德山尊体寺ノ勅額ヲ賜ハル

長禪寺	臨濟宗	全	ニシテ一大古梵刹ナリシガ享和三年祝融ノ災ニ罹リ爾來修築スルモ舊ノ宏觀ニ復セズ
遠光寺	日蓮宗	全 伊勢町	釋迦牟尼如來ヲ安置ス舊時巨摩郡鮎澤村ニアリ正和二年ノ創建ニシテ夢窓國師ノ開山タリ武田氏時ノ住職岐秀ニ深ク歸依シ天文二年現地ニ移シ岐秀ヲ準開山トシ武田氏ノ祈願所トス晴信薨ニシテ信玄ノ二字ヲ和尙ヨリ與ヘラル又信玄ノ母大井氏ヲ葬ル天正年間織田氏ノ戰亂アリ當時住職高山ナルモノ亂ヲ惠林寺ニ避ケシモ兵燹ノ爲メ死ス寺亦衰フ后世陽室ヲ推シテ中興開山トス當寺ハ后ヲ祝融ノ災ニ罹リ口碑ニ傳ハラサルモノアリ而シテ今安スルモノハ大石内藏助ノ女カ寄贈ノ看經佛ナリト云フ往昔甲府五刹ノ一タリ
遠光寺	日蓮宗	全 伊勢町	十界蔓荼羅ヲ安置ス新羅三郎五世ノ孫加々美次郎遠光甫メ地ヲ小曲村ニトシ創建ス時ニ建保二年ナリ感應山遠光寺ト號シ京都建仁寺宗明ナルモノ開山トス后ヲ水災ノ憂ヲ以テ蓬澤村ニ轉ス文永十一年日蓮ニ歸伏シ轉宗ス山號ヲ寶塔ト改ム后又大畑村ニ移ス即チ現地ナリトス

阿彌陀如來ヲ安置ス寺域ハ舊一條次郎ノ館跡ニシテ一條道場稻久山一蓮寺ト號ス壽永三年次郎忠頼誅セラル、ヤ其夫人落飾シテ尼トナリ寺ヲ建テ居ル久シ尼寺ト稱ス武田時信正和元年尼寺ヲ修飾シテ僧寺トシ法阿朔日上人ヲ開山トス慶長年間甲府築城ノキ現地ニ移ル當寺五代尊觀法親王遊行上人第十二代ヲ繼クノ由縁ニ因リ代々參内拜講ヲ賜ハリ菊桐金紋袂箱綱代乘輿ヲ用ヒ來ル舊三門ノ額號ハ後醍醐天皇ノ勅書本堂ノ額號ハ東山天皇ノ勅書ナリ舊來一宗ノ末頭ニシテ本山欠住ノ節ハ直ニ當寺ヨリ進ム

● 農 業

(四二) 農家ノ戸數及人員		三十五年末	
種別	專業	兼業	計
戸數	一、二〇〇戸	一、〇〇〇戸	二、二〇〇戸
人員	三、六〇〇人	三、〇〇〇人	六、六〇〇人
(四三) 自作、小作地ノ段別人員		三十五年末	

(四四) 耕地作付不作付反別		三十五年末	
種別	田	畑	計
自作	九〇〇	一五七反	四七九反
小作	三、六〇〇	六二九、三二二	一九一六、二二七
自作兼小作	三、〇〇〇	五二四、五〇五	一五九六、九二三
計	七、五〇〇	一三三一、一二七	三九九二、二二八
(四五) 米ノ收穫高及植付反別		三十五年中	
種別	田	畑	計
作付	二六八丁	一三二丁	三九九丁
不作付	一	一	一
收穫	一〇二一	一一二七	三九九丁
反別	一三三	一一二七	三九九丁
計	二六八丁	一三二丁	三九九丁
種別	米	陸	計
收穫	三、四三三石	一石	七二六
反別	一〇〇町	八〇町	一五四五
計	三、四三三石	一石	七二六

		(四六) 農作物收穫高及反別				三十五年中	
種別	收穫	反別	平均收穫	反別	平均收穫	反別	
大麥	一,五七〇〇〇	一〇六〇〇〇	一四七〇	實	一七〇〇〇	五〇〇	
小麥	五〇〇〇〇	五八〇〇〇	一〇〇	蘿蔔	四八〇〇〇	九〇〇	
粟	四〇〇〇	三〇〇〇	一〇〇	葱	二五〇〇〇	五〇〇	
稗	三〇〇〇	二〇〇〇	一〇〇	南瓜	五四〇〇〇	一〇〇〇	
大豆	三三〇〇〇	三〇〇〇〇	一〇〇	越瓜、青瓜、胡瓜	一〇八〇〇〇	六〇〇	
小豆	七〇〇〇	五〇〇〇	一〇〇	茄子	一六〇〇〇	九〇〇	
菜種	一五〇〇〇	一五〇〇〇	一〇〇	牛房	一四〇〇〇	二〇〇	
藍葉	三〇〇〇	五〇〇〇	六〇	青芋	一八〇〇〇	二〇〇	
馬鈴薯	一,一〇〇〇	五〇〇〇	六〇	菜	七八〇〇〇	一三〇〇	
見積	八段	別	收穫	種	一反步平均收穫高		
(四七) 桑園	三十五年中						

(四八) 養蠶 二八町 五〇〇〇 一六、四一六 〇〇〇 五七 實

種別	飼養	掃立	繭	玉	繭	屑	繭
戶數	枚數	枚數	數量	一石價格	數量	一石價格	數量
春蠶	八五	一二七	七石	一七	一八	一石	
夏秋蠶	二〇	一八	九五〇、〇〇〇	二四、〇〇〇			
計	一〇五	一四五	八〇	一九	一	一	

(四九) 蠶糸及真綿 三十五年中

製造所	自宅	生		糸		屑糸及屑物		真綿		
		器械取	坐操取	熨斗糸	玉	屑糸及屑物	真綿			
數量	一貫目價格	數量	一貫目價格	數量	一貫目價格	數量	一貫目價格	數量	百元價格	
一六	八五三、九六	一一〇	六、五〇	五	一	五五	三五	七、八五	七	一、九五

(五〇) 蠶卵紙 三十五年中

種類	製造戶數	數量	價格	(五二) 獸醫及蹄鐵工		計
				獸醫	蹄鐵工	
普通	1	250枚		35年中		275圓
本免狀				1	4	5
假免狀						
本免狀						
假免狀						
計						
(五二) 家畜						
種別	內國種	外國種	雜種	計		
牛	1	65	64	1	2	5
馬	1	1	1	1	1	3
計	1	66	65	2	3	5
(五三) 屠殺						
種別	內國種	外國種	雜種	計		
牛	1	65	64	1	2	5
馬	1	1	1	1	1	3
計	1	66	65	2	3	5
三十五年中						

● 商業

屠場二	頭數	斤	量	價	格	(五四) 牛乳榨高	
						外國種	雜種
種別	牝	計	牝	牝	牝	計	計
成牛	35	4100斤	3900斤	4900斤	322圓	810圓	1410圓
犢	1	1	1	1	1	1	1
馬	1	1	1	1	1	1	1
羊	1	1	1	1	1	1	1
豚	2	5	3	8	23	28	39
(五四) 牛乳榨高							
榨取戶數	3	26	26	26	26	26	26
乳牛數	26	26	26	26	26	26	26
高乳牛數	26	26	26	26	26	26	26
計	26	26	26	26	26	26	26
三十五年中							



(五五)		國稅營業者		三十五年度	
種別	稅額	人員	種別	稅額	人員
物品販賣業	一〇、〇一〇 <sup>四</sup> 九九〇	七七三	運送業	二九二九 <sup>四</sup> 二五	三
銀行業	六、三〇六 <sup>四</sup> 五八三	一	勞力受負業	三〇〇〇	一
土木請負業	二七六 <sup>四</sup> 三五一	三三	料理屋業	四九九五〇一	五六
製造業	一、七七四 <sup>四</sup> 一七〇	一〇四	旅人宿業	二八六七八八	二二
印刷業	六八一〇八	八	公ナル周旋業	三三五〇〇	一七
金錢貸付業	三九四三二三	四〇	代辦業	五〇〇〇	三
物品貸付業	二九九四八	六	寫真業	九〇四〇	一
席貸業	一一二〇〇	二	仲買業	一六五二三〇	三五
製糸業	三九五三九〇	二七	合計	二〇、五六二〇三七	一、一四二
(五六)		縣稅營業者		三十五年度	

物品販賣業	三、三三三 <sup>四</sup> 四六〇	一、六〇九	印刷業	一五三三〇	四
金錢貸付業	五一〇四〇	九	寫真業	二〇〇〇	五
物品貸付業	四五七九〇	四三	職工	四七八二七〇	四六六
土木受負業	二八八〇〇	二八	料理屋	二九八〇	四
旅人宿業	一四四二一〇	八四	飲食店	二六四九六〇	一七〇
運送業	五〇三〇	七	待合茶屋	一	一
兩換店	一	一	芝居茶屋	一〇〇〇〇	二
席貸業	三〇〇〇	一	湯屋	九二九八〇	二一
諸製造業	三七四七三〇	二八六	理髮人	五四七八〇〇	一四〇
遊藝師匠	五二五〇〇	一四	遊覽所	一	一
遊藝稼人	一〇二四〇〇	四二	遊技場	一一一六〇〇	一八
相撲	一	一	人寄席	三二五三五〇	三
俳優	二三二五〇	二六	藝妓屋	一、六九六〇〇〇	三

車										演	市	酌	幣	藝
自用人力車	人力車一人乘	中小車	荷積車大七八	荷積馬車	全荷車	鐵道馬車	馬車(立一匹)	劇場	場	場	婦	間	妓	
1	七九〇	一、六六七	四一六	一〇八〇〇	四八〇〇	一五二〇〇	一四一六七〇	一、二五三	一七八三〇	一五〇〇〇	1	二、二〇二〇〇		
1	三三三	一〇三	一八	二〇	一二	一九	三一	三	三	五五	1	一二六		
法人家屋	漁業	狩獵	牛馬	貸家	稼牛馬	屠畜	乘馬	諸興行	器械運轉 使用水車	精穀水車	製糸水車	船		
九二八	三三二	二二	二四〇〇	一、五一	八八〇〇	1	1	一三六	一〇〇〇	六〇〇〇	1	1		
七七〇	二九〇	〇〇	〇	一六〇	〇〇			一三〇	〇〇	〇〇				
三一	一八	三〇	八	三六九	一七八	1	1	二四	一	一八六	1	1		

卅四

(五七) 商業者										自轉車	計	
小間物	舶來品	太物	吳服	眞綿	蠶種	生糸	繭類	穀類	商名	卸賣數	仲買數	小賣數
二〇	二五	三〇	一五	二〇	二	三〇	八二	八〇	漆器	六	三	二〇
三	二	二〇	一〇	三	1	三一	五〇	三〇	板木	一五	五	五
三〇	二〇	一七	二〇	一五	五	一〇	一〇	一二〇	竹類	一〇	三	一一
乾物類	青物類	酒類	烟草	菓子類	書籍				書籍	三	二	二〇
二五	二	七	一五	二〇					菓子類	二〇	五	五〇
									烟草	一五	一〇	六〇
									酒類	二	二	八三
									青物類	二	四	三五
									舶來品	二	四	三五
									小間物	二〇	五	五〇
									商名	八〇	三	二〇
									卸賣數	八二	三	二〇
									仲買數	三一	五	一一
									小賣數	五〇	三	二〇
									計	一七、二〇〇	二二〇	四、七三〇
									商業者	八七		
									三十五年中	一〇四七〇〇		

卅五

繪 具	煉 油	酢	味 噌	附 木	鉛	醬 油	魚 類	賣 藥 類	藥 種 類	印 傳 細 工 類	革 類	馬 具 類
四	四	二	五	三	三	八	一五	四〇	一八	三	二	二
二	二	一	一	二	一	一	三	二	三	一	二	一
八	五	三	一〇	一〇	八	二五	二〇	三三	三〇	五	三	五
漬 物	提 灯	火 藥	時 計	鐵 葉 細 工	石 灰	硝 子 板	石 油	洋 燈	古 金 銀	砂 類	綿	水 晶 玉 石
一〇	八	三	五	四	三	四	七	五	一	四	一五	一〇
四	三	一	二	二	三	一	一	一	四	一	三	二
二〇	一二	五	二〇	一五	四	一〇	四〇	一〇	一五	二〇	八	一五

卅七

際 物 類	玩 物 類	骨 董 類	紙 類	薪 炭 類	糸 紐 類	疊 表 類	鐵 物	陶 器	古 着	足 袋	仕 立 物	荒 物
四	四	三	九	二〇	三	一〇	一七	二二	一〇	九	一〇	一五
一	二	三	二	一八	五	一	三	一〇	二〇	三〇	二	二
五	八	二五	三五	四〇	二五	二〇	二〇	二五	四〇	四五	五〇	一〇〇
筆 墨	茶	食 鹽	經 木	乾 柿	素 麪 類	豆 腐 類	木 具 類	粉 類	種 物 類	水 油 類	傘 類	下 駄 類
一〇	四	三	三	二	三	三	二	四	三	五	三	二六
三	二	一	一	一	一	一	一	四	二	一	二	一〇
三〇	二〇	一〇	四	五	八	三〇	一五	一〇	一五	九	二〇	四九

卅六

種別	問屋仲買	問屋仲買		問屋	仲買小賣	計
		頭取人員	問屋戸數			
洋傘	二	一	二〇	佛具	四	二
ハ	二	一	三	洋服	七	三
竹細工	三	二	八	木會物	四	二
紙鳶	二	一	三〇	夜具	七	二
草履	三	三	五〇	葬具	四	一
合計	八二九	三六五	一、七五六			七

(五八) 同業組合		三十六年中	
組合名稱	創立年月	組合名稱	創立年月
甲府乾物商組合	明治二十二年十二月	甲府魚商同業組合	明治二十五年四月
甲府醬油製造組合	全十九年	甲府洋服裁縫組合	全三十四年三月
甲府藥種商組合	全二十三年十月	甲府金物商組合	全三十一年
藤商組合	全二十五年一月		

種別	問屋仲買	問屋仲買		問屋	仲買小賣	計
		頭取人員	問屋戸數			
米類	一	一	二一〇	一	五、二七〇〇〇	五、二七〇〇〇
魚類	一	六	一八	三、五五〇〇	三、五五〇〇	二、四、三〇〇〇

(六〇) 諸雇賃錢		三十五年中	
職業別	給別	金額	職業別
農作年雇	男 女	二八〇〇〇 二九〇〇〇	袋物職
同日雇	男 女	二九〇〇 三〇〇〇	染物職
養蠶雇	男 女	三〇〇〇 三〇〇〇	和服仕立職
蠶糸操女	男 女	二五〇〇 二五〇〇	洋服仕立職
機織	男 女	三二五〇 三二五〇	木挽職
漆器塗師	全	三五〇	大工
鋸職	日	三五〇	左官
合計			全
			五五〇

品名		量	名	最	高	最	低	平	均
甲斐絹	一匹	八〇〇〇							七五〇〇
三極	一貫目	四一〇							三四〇
和葡萄	一貫目	七五〇							六二五
洋葡萄	一貫目	一一〇							一〇〇
和操綿	一斤	一二〇							一二〇
洋操綿	一斤	二二〇							二二〇
繭	一石	四五〇〇〇							四五〇〇〇
生糸座燥機	一斤	八四一五〇〇〇							八四一五〇〇〇
		七〇〇〇〇							六八〇〇〇
		四五〇〇〇							四五〇〇〇

(六一) 重要物品相場  
三十五年中

四十一

靴職	日	四〇〇	僕	年	二四〇〇〇
煉瓦師	日	四五〇	婢	年	一八〇〇〇
馬具師	日	四〇〇			

手傳職	日	四〇〇	車製造職	日	四〇〇
瓦葺	日	四五〇	紙漉工	日	四〇〇
屋根職	日	四五〇	鑄物職	日	三五〇
黒鍬職	日	四五〇	鍛冶職	日	三五〇
指物職	日	四五〇	綿打職	日	二五〇
經師職	日	四〇〇	活版植字職	日	三五〇
墨刺職	日	三五〇	油絞職	日	三〇〇
建具職	日	三五〇	桶職	日	三五〇
石工	日	三五〇	酒造稼人	日	三五〇
植木職	日	四五〇	醬油造稼人	日	三五〇
烟草刻職	日	三〇〇	足袋職	日	二七五
菓子製造職	日	三五〇	日雇人夫	日	三〇〇
下駄職	日	四〇〇	坑夫	日	四五〇

四十

編 蝠 傘 地		一 匹	一 一 〇 〇 〇	一 〇 〇 〇 〇	一 〇 〇 〇 〇
(六二) 木材相場					
木種	價	格	木種	價	格
松	四〇〇〇	栗板			
松板	一〇〇〇	檜			
杉板	四八〇〇	榎			
杉	二〇〇〇	樺			
栗	五〇〇〇	縦			
(六三) 日用品平均相場					
三十五年中					
品目	年次	三十五年	三十四年	三十三年	三十二年
酒	石一	四一六六〇	二四三三〇	二六五〇〇	二二六〇〇
麥	石一	一一八六〇	一一九九〇	五九〇〇	一〇〇〇〇
精米	石一	一六七五〇	一四二三〇	一五二〇〇	一四七〇〇
三十一年					
五ヶ年平均					
酒	石一	二七五〇	二七五〇	二七五〇	二七五〇
麥	石一	九〇九〇	九〇九〇	九〇九〇	九〇九〇
精米	石一	一六六七六	一六六七六	一六六七六	一六六七六

銀行及會社

(六四) 銀行		三十五年末	
銀行名	位置	資本金	積立金
第十銀行	常盤町	一,〇〇〇,〇〇〇	一五〇,〇〇〇
山梨農工銀行	全	三〇〇,〇〇〇	三三,〇〇〇
有信貯金銀行	三日町	三〇〇,〇〇〇	二五,〇〇〇
創業年月		總額	拂込額
明治十年四月		八五〇,〇〇〇	一五〇,〇〇〇
全三十二年四月		三〇〇,〇〇〇	三三,〇〇〇
全二十八年七月		三〇〇,〇〇〇	二五,〇〇〇

炭	薪	種油	鹽	味噌	醬油
一貫	一貫	石一	石一	一貫	石一
〇五八	〇二三	三七四〇〇	三八〇〇〇	三六〇〇〇	二六六六〇
〇六六	〇二八	四一〇〇〇	四五五〇〇	三五〇〇〇	一七〇〇〇
〇八五	〇二五	四二〇〇〇	五〇〇〇〇	四〇〇〇〇	二〇〇〇〇
〇九〇	〇二六	四〇三三〇	六〇〇〇〇	四五〇〇〇	二〇〇〇〇
〇六〇	〇一八	三六二五〇	五一〇〇〇	三〇〇〇〇	一六〇〇〇
〇七二	〇二四	三九三九六	四八九〇〇	三七二〇〇	一九九三二

計	式					合名會社若尾銀行					計									
	甲府商業銀行	漸進銀行	補融銀行	若尾貯蓄銀行	富士井貯金銀行	山田町	綠町	柳町	全	明治廿九年十一月										
	八日町	綠町	紅梅町	山田町	綠町	山田町	全	三十四年五月	全	三十三年一月	全	三十二年四月	全	二十六年五月	全	三十一年九月	全	十四年十月	全	三十一年九月
	200,000	80,000	30,000	30,000	30,000	30,000	1,970,000	500,000	500,000	500,000	500,000	1,705,000	1,705,000	1,705,000	1,705,000	1,705,000	1,705,000	1,705,000	1,705,000	1,705,000
	150,000	80,000	30,000	30,000	30,000	30,000	1,705,000	500,000	500,000	500,000	500,000	1,705,000	1,705,000	1,705,000	1,705,000	1,705,000	1,705,000	1,705,000	1,705,000	1,705,000
	3,800	30,600	9,800	6,000	700	2,432,500	90,000	3,700	3,700	3,700	3,700	3,700	3,700	3,700	3,700	3,700	3,700	3,700	3,700	3,700

店	年未現在		一年間		一年間		一年間						
	貸出金高	口數	貸出金高	口數	受戻金高	口數	流質金高	口數					
合	(六六) 質屋 三十五年中												
	山梨煉瓦製造株式會社	佐渡町	明治廿九年十月	八〇,〇〇〇	六〇,〇〇〇	六,三四	四,一〇〇	四,一〇〇					
	山梨馬車鐵道株式會社	下一條町	同三十年七月	一〇〇,〇〇〇	一〇〇,〇〇〇	七,〇〇〇	一〇,〇〇〇	一〇,〇〇〇					
	甲府電力株式會社	綠町	同三十三年五月	九,〇〇〇	九,〇〇〇	七,〇〇〇	一〇,〇〇〇	一〇,〇〇〇					
	甲府紡績株式會社	同町	同二十二年十月	一〇〇,〇〇〇	六二,五〇〇	一〇,〇〇〇	四,九〇〇	四,九〇〇					
	株式會社甲府四品取引所	佐渡町	同二十九年六月	一〇〇,〇〇〇	一〇〇,〇〇〇	四,九〇〇	三,四四	三,四四					
	合計	1	1	476,000	410,500	33,440	33,440	33,440					
合計	1	1	2,790,000	2,535,000	400,200	400,200	400,200						
(六五) 會社		三十五年中											
名	稱	位	置	創立年月	資	本	額	拂	込	額	積	立	金

四五 八〇、二九〇、九四四 五、七、七 一、九四、九三、二六五 一、九、五、三 一、五、〇、三、二 一、〇、二、七 一、九、五、八、三 一、三、七、二

(六七) 銀行及質屋金利歩合 三十五年中

千圓ニ對スル	平均	最高	最低	平均	最高	最低	平均	最高	最低	平均	最高	最低
	三〇	三三	二七	三一	三四	二八	月一分九	月二分三	月一分五	月二分一	月二分五	月一分七
百圓ニ對スル	拾圓ニ對スル	壹圓ニ對スル										

● 工業

(六八) 工場 三十五年中

工場名稱	位置	創業年月	製造品目	職工		原動力	持主
				男	女		
風間製糸場	柳町	明治九年六月	生糸	五	二五〇	二	不詳
大木製糸場	八日町	同十二年六月	同	一	一〇〇	一	同
雨宮製糸場	山田町	同七年六月	同	一	二〇〇	一	一〇

三浦製糸場	河合製糸場	郷製糸場	武井製糸場	矢島製糸場	秋山製糸場	生糸共同榨揚場	野口酒造場
紅梅町	三日町	山田町	穴山町	太田町	青沼町	伊勢町	柳町
同十七年六月	同九年六月	慶應三年六月	明治七年二月	同十年十月	同十九年	同廿二年五月	寛永元年
同	同	同	同	同	同	同	酒類
三	三	三	一	一	一	一	二
九二	九二	一五〇	一六二	一五三七〇	八五	八三	一
一	一	一	一	二	一	一	一
五	不詳	一五	不詳	同	二	不詳	一
三浦利兵衛	河合文七	郷佐七	武井常助	矢嶋榮助	秋山幸右衛門	矢島組	野口忠藏

(六九) 機業者及織物産額 三十五年中

戸數	機		織物
	器	手	
一	一	五	二
			五
			六〇〇
			六、〇〇〇

(七〇) 綿糸紡績 (一) 三十五年中



社名	甲府紡績株式會社		石炭消費高		職工計		職工賃錢		首要製糸番數		同捆平均		用高		落出		綿屑出		糸	
	六、五〇 <sup>四</sup>	二、二五 <sup>本</sup>	一 <sup>本</sup>	二、二五 <sup>本</sup>	三、三六 <sup>六</sup>	三、三六 <sup>六</sup>	三、三六 <sup>六</sup>	三、三六 <sup>六</sup>	三、三六 <sup>六</sup>	三、三六 <sup>六</sup>	三、三六 <sup>六</sup>	三、三六 <sup>六</sup>	三、三六 <sup>六</sup>	三、三六 <sup>六</sup>	三、三六 <sup>六</sup>	三、三六 <sup>六</sup>	三、三六 <sup>六</sup>	三、三六 <sup>六</sup>	三、三六 <sup>六</sup>	三、三六 <sup>六</sup>
	平均一日、運轉鐘數		管糸出來高		日營業		一日平均		蒸瀛水車		日營業		一日平均		就業時間		就業時間		就業時間	

(七二) 綿糸紡績 (二)		三十五年中	
洋製機械取和製機械取		合計	
量目	價格	量目	價格
二六、五三八	五〇、四二二 <sup>四</sup>	二六、五三八	五〇、四二二 <sup>四</sup>
(七三) 度量衡製作所並販賣所 三十五年中			
製作所		販賣所	
度量衡器	計	度量衡器	計

(七四) 水晶細工品產額		三十五年中	
製造戶數		製造品價格	
一	二	三	八
(七五) 酒醬油其他釀造物		三十五年中	
種類	戶數	數量	價格
清酒	四	二、〇九〇 <sup>八</sup> 九一	六二、七二六 <sup>四</sup>
味淋	一	二四、一三六	一、四四八
燒酎	一	六六、四六二	二、九九〇
白酒	一	四、二六五	二、一三三
醬油	九	三、〇九一、六一六	六一、八三二
酢	五	一、三二〇、〇〇〇	一一、八八〇
味贈	九	一四、七一六 <sup>九</sup> 〇〇〇	四、四一四
		八〇〇	八〇〇

		(七六)		職工數		三十五年未	
種別	男	女	計	種別	男	女	計
時計直シ	二〇	一	二〇	繪	三	一	三
洋服仕立	二五	五	三〇	塗物	一五	一	一五
和服仕立	三五	一二五	一六〇	佛師	三	一	三
琴、三味線、其他音曲器	三	一	三	造花	一〇	一	一〇
印版彫刻	二〇	一	二〇	神佛具及祭葬具	二二	一	二二
印版刷	二五	一	二五	鐵砲	四	一	四
活版	四〇	一	四〇	弓矢及弓弦	三	一	三
石版	一二	一	一二	編蝠傘	三五	四	三九
靴	五	一	五	傘	七	一	七
下駄足袋	七〇	一	七〇	煙火	三	一	三
玩具	三九	三	四二	草履	九〇	一〇	一〇〇

五十

		五十一	
種別	男	女	計
鬘	五	一	五
芝居道具	三	一	三
鬘形	三	二	五
寫真箱	七	一	七
縫箔	七	三	一〇
上繪	一三	一	一三
刺繡	五	二	七
大工	二四五	一	二四五
唐木細工	三	一	三
骨角細工	二	一	二
水晶、玉石、細工	五〇	一	五〇
竹細工	二八	一	二八
簾細工	八	一	八
足袋、腹掛、股引、脚絆	一五〇	一一〇	二六〇
袋物	一〇	三	一三
煙管	三	一	三
籠甲細工	一〇	一	一〇
車細工	二四	一	二四
農具	五	一	五
牛馬具	一〇	一	一〇
庭造具	三〇	一	三〇
左官	六五	一	六五
ベソキ塗	一一	一	一二
鍛冶	四三	一	四三
鋳物及鑄掛	二五	一	二五
刺	三九	一	三九

五十一

洗	掘拔井戶	提燈	屋根	檜物	轆轤細工	綿打	扇子、團扇	製糸工	紡績器	諸器械	漁具	櫛
三〇	二〇	二〇	二〇	八	二	二〇	二五	二〇	二	二五	三	一〇
一〇	一	一	一	一	一	一	一〇	三、五	一	一	一	一
四〇	二〇	二〇	二〇	八	二	二〇	三五	三、七	二	二五	三	一〇
製	帳	鏡	刃物	鋸目	眼鏡	煉油	香水	綿操道具	金物	煙草	卷烟	艾
二五	二〇	六	一〇	一五	一〇	一〇	一〇	三	二〇	二〇	五	一
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
二五	二〇	六	一〇	一五	一〇	一〇	一〇	三	二〇	二〇	五	一

五十三

指物	石工	煉瓦燒	桶類	木挽	土器	合羽、桐油	酒造杜氏	酢造杜氏	醬油杜氏	皮革細工	料理人	西洋洗濯
四〇	六三	三	一四	七	五	七	四	二	五	二〇	五〇	二五
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
四〇	六三	三	一四	七	五	七	四	二	五	二〇	七〇	三〇
鐵葉細工	建具	表具	陶器	燒繼	機織工	晒	器械紡績	打紐	莫大	編物	素麵	硝子
四〇	五九	二五	二	三	一〇	五	二一	一〇	三	一〇	一九	一五
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
四〇	五九	二五	二	三	三〇	五	二一	一〇	六	二五	一九	一五

五十二

楊	度	筆	革	鐘	蹄	象	銚	油	繪
枝	量		筐	詰	鐵	眼		絞	皮
一八	二八	五	四	五	五	二	二八	四	細
									工
一八	二八	五	四	五	五	二	二八	四	物
齒	狀	蒟	湯	篩	刷	菓	櫻	麥	染
					毛	子	栢	藁	
磨		菊	葉		結	種	細	細	
八	二	七	二	八	三	五〇	工	工	
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
八	二	七	二	八	三	五〇	二	三	二

● 土 木

(七七) 道路橋梁

三十五年未

治	道路橋梁	種別	新築増築	修繕	延長	市費	補助	寄附金
水			市					
一	一、〇九二	坪數	坪數	間數	間數	間數	間數	間數
	三三八	五、七六二	五、七六二	一、四四一	一、四四一	二、八七八	二、八七八	三、七三三
	三、四〇八	坪數	坪數	間數	間數	間數	間數	間數
	一六三	五、二〇〇	五、二〇〇	一、四〇〇	一、四〇〇	八、四四〇	八、四四〇	八、六六六
	八六二〇	延長	延長	延長	延長	延長	延長	延長
	八六二〇	市	市	市	市	市	市	市
	四、五〇〇	費	費	費	費	費	費	費
	四八一	三十五年度	三十五年度	三十五年度	三十五年度	三十五年度	三十五年度	三十五年度
	一	里道新開ノ坪數延長及費金	里道新開ノ坪數延長及費金	里道新開ノ坪數延長及費金	里道新開ノ坪數延長及費金	里道新開ノ坪數延長及費金	里道新開ノ坪數延長及費金	里道新開ノ坪數延長及費金
	一	三十五年度	三十五年度	三十五年度	三十五年度	三十五年度	三十五年度	三十五年度
	一	柳町外五ヶ所	柳町外五ヶ所	柳町外五ヶ所	柳町外五ヶ所	柳町外五ヶ所	柳町外五ヶ所	柳町外五ヶ所
	一	七、三九四	七、三九四	七、三九四	七、三九四	七、三九四	七、三九四	七、三九四
	一	坪數	坪數	坪數	坪數	坪數	坪數	坪數
	一	九〇	九〇	九〇	九〇	九〇	九〇	九〇
	一	一間以上	一間以上	一間以上	一間以上	一間以上	一間以上	一間以上
	一	三、五五〇	三、五五〇	三、五五〇	三、五五〇	三、五五〇	三、五五〇	三、五五〇
	一	一間未滿	一間未滿	一間未滿	一間未滿	一間未滿	一間未滿	一間未滿
	一	五、三五五	五、三五五	五、三五五	五、三五五	五、三五五	五、三五五	五、三五五
	一	三十五年度	三十五年度	三十五年度	三十五年度	三十五年度	三十五年度	三十五年度
	一	一條町外一ヶ町	一條町外一ヶ町	一條町外一ヶ町	一條町外一ヶ町	一條町外一ヶ町	一條町外一ヶ町	一條町外一ヶ町
	一	三、五五〇	三、五五〇	三、五五〇	三、五五〇	三、五五〇	三、五五〇	三、五五〇
	一	坪數	坪數	坪數	坪數	坪數	坪數	坪數
	一	四、〇〇〇	四、〇〇〇	四、〇〇〇	四、〇〇〇	四、〇〇〇	四、〇〇〇	四、〇〇〇
	一	坪數	坪數	坪數	坪數	坪數	坪數	坪數
	一	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇

用水惡路	1	178603	178603	1	1	1	1	1	1
役所	1	87472	87472	1	1	1	1	1	1
小學校	1,657,305	966900	2,624,205	1	1	1	1	1	204990
商業學校	5,548,133	19190	5,567,323	1	1	1	1	1	30000
傳染病院	2,578,766	203101	2,781,867	418,597	418,597	1	1	1	1
合計	10,876,522	4,872,049	15,748,570	418,597	418,597	2,345,900	2,345,900	2,345,900	2,345,900

● 交通及運輸

(八〇) 官公衙

名	稱	所在地	名	稱	所在地
山梨縣廳	廳	甲府	甲府監獄署	署	橘町
甲府地方裁判所	所	甲府	鐵道作業局甲府出張所	所	橘町
甲府區裁判所	所	甲府	甲府郵便局	局	八日町

名	稱	所在地	名	稱	所在地
山梨縣警察部	部	錦町	御料局静岡支廳甲府出張所	所	代官町
甲府警察署	署	日本赤十字社山梨支部	日本赤十字社山梨支部	支部	錦町
甲府稅務署	署	西山梨郡役所	西山梨郡役所	所	常盤町
山梨縣立病院	院	山梨縣會議事堂	山梨縣會議事堂	堂	錦町
山梨縣尋常師範學校	校	山梨縣農會事務所	山梨縣農會事務所	所	全町
全附屬小學校	校	山梨縣農事試驗場	山梨縣農事試驗場	場	全町
山梨縣立第一中學校	校	甲府測候所	甲府測候所	所	百石町
山梨縣立高等女學校	校	壽町	日本赤十字社山梨支部甲府委員會部	部	柳町
甲府市立商業學校	校	東青沼町	私立山梨英和女學校	校	百石町
甲府市立第一尋常小學校	校	富士川町	私立山梨英和女學校	校	百石町
甲府市立第二尋常小學校	校	工町	私立山梨裁縫女學校	校	愛宕町
甲府市立第二尋常小學校	校	相生町	私立山梨普通學校	校	伊勢町
甲府市立第一尋常小學校	校	新紺屋町	大日本武德會山梨支部	部	櫻町
甲府市立第二尋常小學校	校	穴切町	山梨教育會	會	全町

甲府市立第四尋常小學校		湯田町		山梨教育會附屬圖書館		全		町	
(八一) 運輸會社									
三十五年中									
社名	所在地	資本金	個數	貫	目	個數	貫	目	荷
內國通運株式會社甲府支店	上連雀町	1,000	1	1,200	28,000	4	2,200	42,000	1,200
甲府運送合資會社	富士見町	8,000	10	10,000	9,100	5	5,000	33,000	3,000
帝國中牛馬會社甲府代理店	相生町	20,000	19	19,500	20,500	1	180	2,000	2,000
山梨運輸合資會社	魚町	10,000	1	18,000	18,000	1	500,000	500,000	500,000
合計		48,000	45	55,500	37,800	9	1,480	1,344,900	1,344,900
(八二) 運送賃錢									
三十五年中									
一里毎ノ運賃									
晝夜ノ別	人足	荷車	荷馬車	牛車	一人力車	二人力車	二人力車	乘合馬車	
晝間	150	150	300	1	150	220	220	800	

夜間		200	250	450	1	200	250	1,200	
本表各車ハ各等輛乗合馬車ハ寄臺ノ賃金ナリ									
(八三) 郵便電信									
三十五年中									
局數	受取所	切手賣下所	投函箱	取集配達	取扱局所	引受配達	發信	着信	
1	3	3	43,859,933,607,999	4	4,450	4,300	38,307	4,999	
(八四) 電燈									
三十五年中									
發電所	延長線路	街道点燈數	戸數	燈數	點燈用電力				
1	24,923	1,617	1,057	3,730	38,377				
(八五) 郵便爲替及貯金									
三十五年中									
局	受取所	爲替	貯金						
振出	拂渡	預入	拂渡						



山梨縣立病院		私立山梨病院		私立山口病院	
錦町		代官町		鍛冶町	
×	—	—	—	—	—
三	三	二	三	二	三
五	三	三	三	三	三
三	二	一	二	一	二
四	五	五	五	五	五
九	八	四	八	四	八
二五	二二	一六	二二	一六	二二

×ハ副院長、山口病院ハ三十六年三月ヨリ全年九月迄ノ調査トス

(九二) 死亡者類別		三十五年中	
病名	男	女	計
傳染性病	三四	二四	五八
發育及營養的病	三五	四〇	七五
皮膚及筋肉病	五	一	六
骨及關節病	六	三	九
血行器病	四四	二四	六八
神經及五管病	八〇	六七	一四七
呼吸器病	六八	八一	一四九
計	三五七	三三七	七三四

(九二) 種痘人員		三十五年中	
種別	滿一年以內	一年以上	計
善感	三七五	一一二	四八七
不善感	一〇八	五五	一六三
初種	一三三	一	一三四
再種	—	—	—
善感	—	—	—
不善感	—	—	—
計	六二五	一七七	八〇二

(九三) 種痘所

個所	設置區	城
第一種痘所	桶屋町 上下連雀町 鍛冶町 六山町 八日町 工町 金手町 和田平町 城屋町	
第二種痘所	三日町 魚町 上條町 下條町 櫻町 柳町 山田町 堅近習町 横近習町	
第三種痘所	上府中一圓 彌生町 日向町 水門町 富士見町 花園町 朝日町	

三十六年中



第四種痘所 稻門一圓 深町 若松町 太田町 綠町  
 第五種痘所 飯沼一圓 穴切町 廿人町 百石町 相生町

三十六年中

(九四)

衛生組合

組合名稱	組合町名	組合長	全上代理者	役員		計
				評議員	豫防委員	
相生町 全	相生町 一圓	—	—	—	—	—
全上	全三町目 四町目	—	—	—	—	—
櫻町 全	櫻町一町目 二町目	—	四	九	—	一五
泉町 全	泉町 一圓	—	三	—	—	四
春日町 全	春日町 一圓	—	三	—	—	四
紅梅町 全	紅梅町 一圓	—	—	三	—	五
常盤町 全	常盤町 一圓	—	—	三	—	四
錦町衛生組合	錦町 一圓	一人	二人	一人	—	三人
						計
						九三

六十四

橋町外六ヶ町 全	橋町、彌生町、水門町、日向町、朝日町、富士見町、花園町	—	—	—	—	—	—	—	—
柳町 全	柳町 一圓	—	—	—	—	—	—	—	—
山田町 全	山田町 一圓	—	—	—	—	—	—	—	—
豎近習町 全	豎近習町 一圓	—	—	—	—	—	—	—	—
橫近習町 全	橫近習町 一圓	—	—	—	—	—	—	—	—
富士川町 全	富士川町 一圓	—	—	—	—	—	—	—	—
三日町 全	三日町 一圓	—	—	—	—	—	—	—	—
魚町 全	魚町 一圓	—	—	—	—	—	—	—	—
綠町 全	綠町 一圓	—	—	—	—	—	—	—	—
境町 全	境町 一圓	—	—	—	—	—	—	—	—
太田町 全	太田町 一圓	—	—	—	—	—	—	—	—
桶屋町 全	桶屋町 一圓	—	—	—	—	—	—	—	—
鍛冶町 全	鍛冶町 一圓	—	—	—	—	—	—	—	—
六十五									

連雀町 全	連雀町 一圓	—	三	二	一七	二三
若松町 全	若松町 一圓	—	二	一〇	一〇	二三
穴山町 全	穴山町 一圓	—	四	五	一〇	二〇
工町 全	工町 一圓	—	七	一	一	八
金手町 全	金手町 一圓	—	四	一	五	一〇
一條町 全	一條町 一圓	—	二	四	八	一五
和田平町 全	和田平町 一圓	—	一	九	一	一一
城屋町 全	城屋町 一圓	—	一	二	二	一六
深町 全	深町 一圓	—	四	一	二	一六
八日町 全	八日町 一圓	—	五	一	一	六
新柳町外一ヶ町全	新柳町 増山町	—	一	八	七	一七
愛宕町外一ヶ町全	愛宕町 元紺屋町	—	三	一	二	一六
横澤町外一ヶ町全	横澤町 相川町	—	七	一	一	八

久保町外一ヶ町全	久保町 三崎町	—	一	二	五	九
元柳町外五ヶ町全	元柳町、横田町、元穴山町、大工町、元緑町、廣庭町	—	一	一	七	九
元三日町 全	元三日町 一圓	—	一	一	四	六
白木町外壹ヶ町全	白木町 袋町	—	三	三	九	一六
堅町外二ヶ町全	堅町、新紺屋町、疊町	—	三	一	五	一九
元城屋町外二ヶ町全	元城屋町、細工町	—	六	一	四	二二
飯田町外三ヶ町全	飯田町、壽町、穴切町	—	九	一	三	二二
西青沼町	西青沼町	—	三	一	八	二二
百石町外一ヶ町全	百石町 廿人町	—	三	一	八	二二
新青沼町 全	新青沼町 一圓	—	七	一	一	二八
伊勢町外一ヶ町全	伊勢町 湯田町	—	三	一	二	二五
東青沼町 全	東青沼町 一圓	—	二	一	五	二八
朝氣町 全	朝氣町 一圓	—	一	一	二	三四
三吉町外二ヶ町全	三吉町、佐渡町、代官町	—	一〇	一	四	一五

合 計		1	四七	一九〇	九九	二九〇	六二六
(九五)		汚物掃除區域		三十六年中			
搬出日割及度數		巡回區名		町			
每日		一區	二區	三區	四區	名	
一五、七五〇度		柳、櫻、紅梅、常盤、錦、春日、相生、泉、壽、百石、穴切、飯田、	城屋、和田平、上下一條、金手、工、穴山、魚、八口、山田、三日、	上下連雀、深、桶屋、鍛冶、若松、綠、東青沼、太田、伊勢、湯田、朝氣、三吉、 代官、佐渡、廿人、	豎近習、橫近習、富士川、境、愛宕、花園、橋、日向、彌生、水門、富士見、朝日 新青沼、相川、元三日、袋、三崎、白木、細工、久保、増山、壘、豎、元綠、元穴 山、元柳、橫田、廣庭、元連雀、大工、元城屋、元紺屋、橫澤、新柳、櫻町一丁目		
(九六)		汚物搬出人夫其他		三十五年中			
區域	投棄場數	車輪數	定雇延人員	臨時使用人夫延人員	塵芥汚泥ノ見積數量	全上燒却棄却肥料ノ見積數量	燒却 五二、〇八〇貫
一區	一				塵芥		

二區	一	一三	一二	一三〇	七八二、九一八	棄却 六〇七、二七八			
三區	二				汚泥				
四區	一				二三四、八九八	肥料 一二三、五六〇			
(九七)		監視吏員巡回中注意件數		三十五年中					
汚物容器	溝	渠	便所	地域ノ掃除	土地定着ノ塵芥溜	井戸側及流シ場ノ修理	汚水溜	畜舍	計
又ハ使用上	一、六五六	一、二五六	三三五	五六、七五八	一	六八六	三五二	一八二	六一、二二四
(九八)		盜難ニ罹リシ家屋及人員		三十五年中					
強盗ニ遭ヒシ家		強盗ニ遭ヒシ人員		強盗ニ遭ヒシ人員		擄摸拐帶誑騙ニ遭ヒシ人員		計	
男	女	男	女	男	女	男	女		
三〇六	一	一	一	六	四	三	二二	三五一	
(九九)		盜難ニ罹リシ財產		三十五年中					
一		三〇六		一		六		四	
三十五年中		三十五年中		三十五年中		三十五年中		三十五年中	

貨幣	穀類	數量	價格	品數	價格	頭數	價格	品數	價格	雜品	總金額
二、八五、三、六	三石	四、六、五	二、七	八、五、七、六	四	二、七、〇	五、七	一、〇、七、五、一	四、一、五、〇、五		
途上ニテ保護セラレシ人員											
(一〇〇)	迷子	途上發病者	男	瘋	女	癩	計				
一五	一	一	三	二	二	二	二				
(一〇二) 火災ニ罹リシ家屋											
燒失セシ軒數											
全燒セサリシ家屋											
失火放火不審火軒數											
三	一	一	六	一	一	一	一〇	燒失セシ家屋坪數			
三十五年 中											
(一〇三) 消防											
組數人員											
五	一六六	五	五	五	五	六〇	一四〇	人口千人ニ對スル 消防人比例			
四、四											

集會演說											
(一〇三)											
政談											
非政談											
計											
三十五年中											
開會度數											
辨士人員											
開會度數											
辨士人員											
會數											
人員											
計											
三十五年中											
(一〇四) 民有銃砲及狩獵人員											
民有銃砲											
計											
狩獵人員											
計											
三十五年中											
(一〇五) 貸座敷及娼妓											
貸座敷											
計											
娼妓											
計											
三十五年中											
所在地											
開業											
廢業											
年末現在											
開業											
廢業											
年末現在											
貸座敷											
計											
娼妓											
計											
三十五年中											
新柳町											
甲府市											
一											
三											
一九七二											
六〇											
一一八											
一、八〇、六、四、三											
一、四、九、三、九											

● 教育及褒賞

(一〇六) 究民及棄兒		三十五年度	
種別	人員計	官費市費計	
		官費	市費
究民	一	三六 <sub>四</sub> 二二九	四〇九二三
棄兒	一	九〇四八	三四七六二
計	二	三七 <sub>四</sub> 二二九	四〇九二三
計		三七 <sub>四</sub> 二二九	七七 <sub>四</sub> 二五二

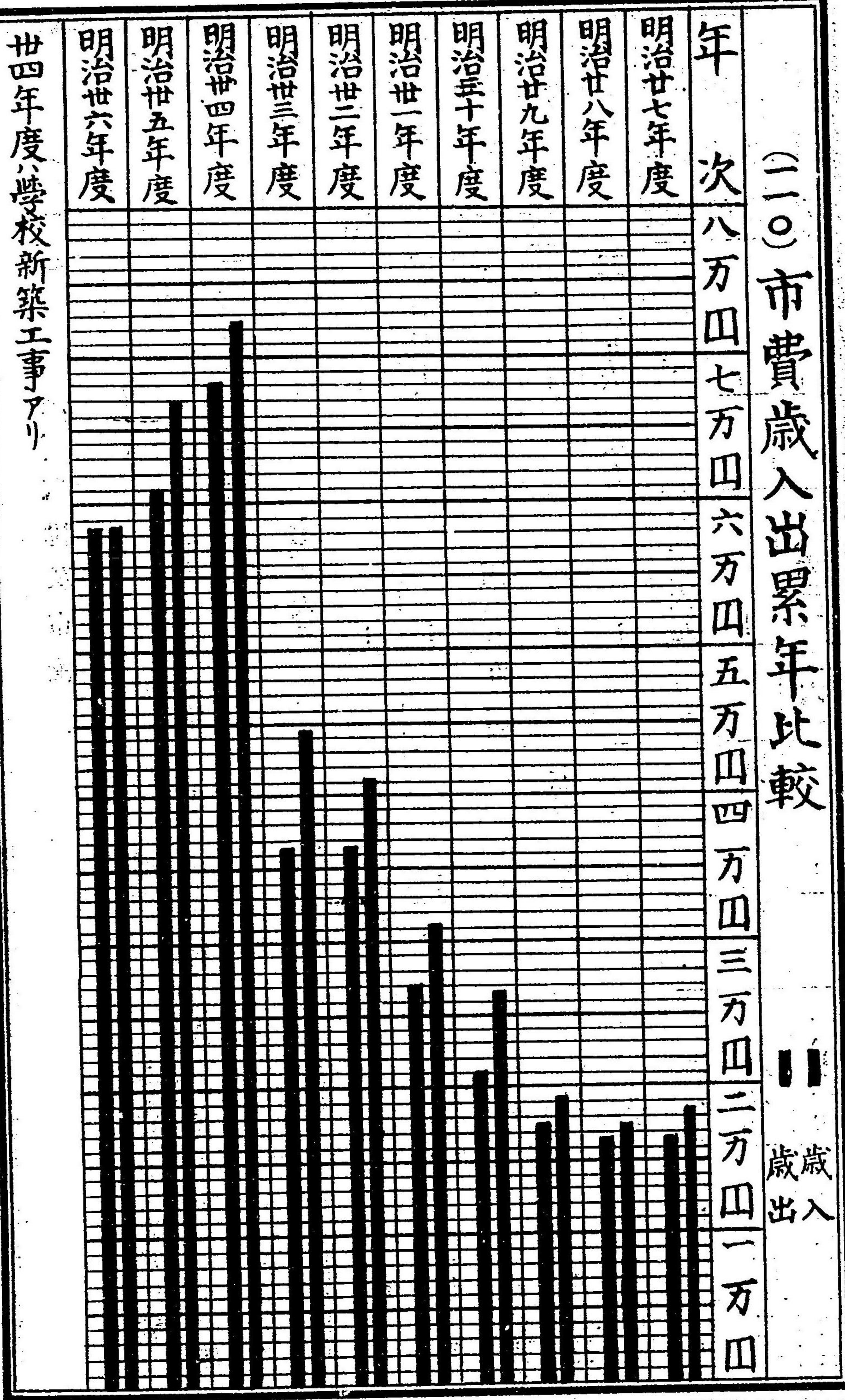
(二〇七) 受賞者成績及賞品ノ種類		三十五年中	
受賞者成績	受賞品種類	計	
		狀	木
褒	品	一〇七	一四六
狀	種		
木	類		
盃			

(二〇八) 市ノ歳入歳出		三十六年度豫算	
歳入	歳出	計	額
一七三	一〇七		

● 財政及負擔

科	目	入										科	目	金	額		
		市	縣	國	交	前	雜	使	財	合	經					役	會
	財產ヨリ生スル收入																二七 <sub>四</sub> 九五〇
	使用料及手数料																一、八五〇五〇二
	雑收入																九、三六八九五八
	前年度繰越金																一、〇〇〇〇〇〇
	交付金																二、二九五二六二
	國庫補助金																六〇〇〇〇〇
	縣稅補助金																三、〇六五五八六
	市稅																四〇、三六〇〇三九
	合計																五八、五六八一七
	經常費																五〇、八七一五九〇
	役所費																一〇、九一一九一三
	會議費																三五七七五〇
	土木費																二、八〇二〇〇六
	教育費																二六、六〇八五八九
	衛生費																四、三〇九九一〇
	救助費																四八九五〇〇
	警備費																三、三三六六〇〇
	勸業費																二〇〇〇〇〇
	補助費																三二五〇〇〇
	報時費																二二三七八〇
	小學校基本金																一三〇二〇〇
	雜支																一、〇六六三四二
	豫備費																三〇〇〇〇〇
	合計																五〇、八七二五九〇



科目	年度	(一〇九) 市税累年別		
		臨時費	役所費	土木衛生費
臨時費	三十五年	七、六九六	六〇七	
臨時費	三十四年	七、六九六	六〇七	
臨時費	三十三年	七、六九六	六〇七	
臨時費	三十二年	七、六九六	六〇七	
臨時費	三十一年	七、六九六	六〇七	
役所費	三十五年	二六七	〇〇〇	
役所費	三十四年	二六七	〇〇〇	
役所費	三十三年	二六七	〇〇〇	
役所費	三十二年	二六七	〇〇〇	
役所費	三十一年	二六七	〇〇〇	
土木衛生費	三十五年	二、〇〇〇	〇〇〇	
土木衛生費	三十四年	二、〇〇〇	〇〇〇	
土木衛生費	三十三年	二、〇〇〇	〇〇〇	
土木衛生費	三十二年	二、〇〇〇	〇〇〇	
土木衛生費	三十一年	二、〇〇〇	〇〇〇	
衛生費	三十五年	四、三七四	六〇七	
衛生費	三十四年	四、三七四	六〇七	
衛生費	三十三年	四、三七四	六〇七	
衛生費	三十二年	四、三七四	六〇七	
衛生費	三十一年	四、三七四	六〇七	
合計	三十五年	四〇、二四二	二、一〇七	五八、五六八一
合計	三十四年	三九、九二七	二、一〇七	五八、五六八一
合計	三十三年	三九、九二七	二、一〇七	五八、五六八一
合計	三十二年	三九、九二七	二、一〇七	五八、五六八一
合計	三十一年	三九、九二七	二、一〇七	五八、五六八一
地價割	三十五年	一、五八八	九五三	
地價割	三十四年	一、五八八	九五三	
地價割	三十三年	一、五八八	九五三	
地價割	三十二年	一、五八八	九五三	
地價割	三十一年	一、五八八	九五三	
所得稅割	三十五年	七、三五八	〇〇〇	
所得稅割	三十四年	七、三五八	〇〇〇	
所得稅割	三十三年	七、三五八	〇〇〇	
所得稅割	三十二年	七、三五八	〇〇〇	
所得稅割	三十一年	七、三五八	〇〇〇	
國稅營業稅割	三十五年	八、四九三	〇〇〇	
國稅營業稅割	三十四年	八、四九三	〇〇〇	
國稅營業稅割	三十三年	八、四九三	〇〇〇	
國稅營業稅割	三十二年	八、四九三	〇〇〇	
國稅營業稅割	三十一年	八、四九三	〇〇〇	
縣稅營業稅割	三十五年	二、三四〇	〇〇〇	
縣稅營業稅割	三十四年	二、三四〇	〇〇〇	
縣稅營業稅割	三十三年	二、三四〇	〇〇〇	
縣稅營業稅割	三十二年	二、三四〇	〇〇〇	
縣稅營業稅割	三十一年	二、三四〇	〇〇〇	
縣稅雜種稅割	三十五年	四、三〇二	二五〇	
縣稅雜種稅割	三十四年	四、三〇二	二五〇	
縣稅雜種稅割	三十三年	四、三〇二	二五〇	
縣稅雜種稅割	三十二年	四、三〇二	二五〇	
縣稅雜種稅割	三十一年	四、三〇二	二五〇	
戶別割	三十五年	一六、二〇九	三三〇	
戶別割	三十四年	一六、二〇九	三三〇	
戶別割	三十三年	一六、二〇九	三三〇	
戶別割	三十二年	一六、二〇九	三三〇	
戶別割	三十一年	一六、二〇九	三三〇	

(一一一) 國、縣、稅及市稅

稅目	種			人員	金額
	國稅	縣稅	市稅		
地租	二、八三三九六一	七、八六五三一〇	一、五八八九五二	一三	三四八八三
地租制				五九〇	三七七七五九
地價制					一九一八〇
所得稅	二、三三六〇〇〇			一一一	八二六九
附加稅		四八八五二四		一一一	八八三〇
附加稅			七、三二五八八〇	一一一	二二三七四七
營業稅	二、五九六三八七	四、六六九一三九		三九	七五二六九四
附加營業稅				六六〇	六四一三〇
國稅			八、四九八三八〇	一、七二四	一、二七五四三四
營業稅		三、六三三二六一			

國稅市稅ハ三十五年度縣稅ハ三十四年度ナリ

稅目	種			人員	金額
	國稅	縣稅	市稅		
縣稅			二、三四〇六〇〇	一、七二四	一七七四二〇
營業稅				七九〇	二、一九〇七〇六
雜種稅				七九〇	二九九七二〇
縣稅			四、三〇一一五〇	三、三八六	一、三〇二四八四
戶數制				三、三八六	四六八七一〇
戶別制			二六、二〇九二三〇	三、三八六	
酒稅	三二、八一五二一〇				
醬油稅	三〇、一五三〇				
法人ノ所得	三、八三二九〇〇				
法人ノ營業稅	六、六九二〇一四				
賣藥稅	二七〇〇〇〇				
計	七八、六七八〇〇	二四〇、六四四二〇	四〇、一六四一九二	三、九九五	七、一〇三九六六

縣稅戶數制及市稅戶別制一戶平均負擔額 三十六年度





計	六千貳百五拾壹坪九合四勺	九棟	三、〇三六八〇三	七拾五ヶ町
	地價金九百貳拾四圓拾貳錢	建坪貳百參拾七坪三合三勺		
用水區	百九拾參坪		四〇〇〇〇〇	水門町外廿貳ヶ町
	地價金參拾壹圓貳拾參錢七厘			
合計	六千四百四拾四坪九合四勺	九棟	三、四三六八〇三	九拾八ヶ町
	地價金九百五拾五圓參拾五錢七厘	建坪貳百參拾七坪三合三勺		
● 議 會				
(一一五) 帝國議會				
貴族院	市內多額納稅者	市選出議員	市選舉有權者	市選出議員
四	四	一	五五五	

本表中貴族院ハ三十四年十二月一日衆議院ハ三十五年十月一日現在トス

名 稱	議員數	選 舉 有 權 者				計
		一級	二級	三級		
山梨縣會	三〇人	市選出議員數	選舉有權者	被選舉有權者		五六〇人
(一一六) 縣 會						
(一二七) 市會及區會						
甲府市會	三〇人	四九人	二二三人	一、二七一	一、五五二	
下町區會	一二	一五	一一五	八九五	一、〇二五	
飯沼區會	六	三	二五	一一〇	一三八	
稻門區會	六	一〇	二九	一一二	一六〇	
上府中區會	六	九	二九	一〇二	一四〇	
用水區會	一二	一一	九〇	六二七	七二八	

本表中市會及用水區會ハ三十五年區會ハ三十六年現在トス

		(一一八) 會議日數及件數				三十五年中	
名	稱	開	會	日	數	件	數
市	市參事會	三六					八一
區	區會	一〇					七二〇
用水區	用水區會	三					六

		(一一九) 市吏員				三十六年末	
職	名	人	員	年	俸	月	俸
市長	市長	一					三六
名譽職	名譽職	六					九
參事會	參事會	一					九
助役	助役	一					九
收入役	收入役	一					九
書記	書記	二四					九
掃除	掃除	一					九
巡視	巡視	四					九
雇員	雇員	一〇					九
給使	給使	九					九
計	計	五七					五七

		(一二〇) 市吏員俸給				三十六年末	
職	名	人	員	年	俸	月	實費辨償額
市長	市長	一					三六
名譽職	名譽職	六					九
參事會	參事會	一					九
助役	助役	一					九
收入役	收入役	一					九
書記	書記	二四					九
掃除	掃除	一					九
巡視	巡視	四					九
雇員	雇員	一〇					九
給使	給使	九					九
計	計	五七					五七

●市職員及文書

職	名	人	員	年	俸	月	實費辨償額
市長	市長	一					五〇〇
名譽職	名譽職	六					五〇〇
參事會	參事會	一					五〇〇
助役	助役	一					五〇〇
收入役	收入役	一					五〇〇
書記	書記	二四					五〇〇
掃除	掃除	一〇					五〇〇
巡視	巡視	五					五〇〇
學務委員	學務委員	五					五〇〇
區長	區長	三					五〇〇
區長代理者	區長代理者	三					五〇〇
土木委員	土木委員	二					五〇〇
使丁	使丁	七					五〇〇
給仕	給仕	二					五〇〇

課係別		總務課										文書課	課及係別	係員	課別	係名	係員	
收發別	課係別	會計係	用水係	土木係	兵事係	戶籍係	衛生係	學務係	庶務係	庶務係	庶務係	庶務係	文書課	係員	課別	係名	係員	
		×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×					
		監視課					徵稅課		縣市稅係		國稅係							
		收入役事務補助																
		合					計											
		×二五					三九		二五		×二八		×三三					
		文書收受及發送件數										三十六年末						
		(一一二)										三十六年末×ハ兼務者						

計	發送	收受
一、三三七	一、二八四	三、三
四、七五五	八六七	三、九八八
一、二二六	九三三	三、三四
一、二二七	二五七	九〇〇
二、八五五	四、六四四	七、三三二
一、六〇〇	三、四六六	一、三三四
二九八	一〇三	一九六
五	二六	六九
八四	七五	九
三、七三〇	三、四四	三、三六六
六、二六、三九	五〇八、九七	二、二七、三九三

(附 録)

●市及附近ノ名勝古蹟略記

(一) 古 蹟

甲 府 城

一名舞鶴城ト稱シ昔時小山城ト云フ武田氏ノ祖信義ノ子一條次郎忠頼ノ館趾タリシカ忠頼没シテ後チ其館ヲ佛寺トナシ一條ノ道場ト稱ス寺號ヲ一蓮寺ト改ム文祿年間淺野長政國主トナリ該寺ヲ舊藏田(今太田町ナリ)ニ移シ玆ニ新城ヲ築ク一條ノ小山之ナリ長政退テ後平岩親吉、徳川忠長、綱重、綱豊及柳澤吉保、吉里等代々其城ヲ襲フ而シテ享保年間ヨリ慶應年間ニ亘ル徳川幕府ノ直轄スル所トナリ明治維新時代ヲ廢シ爾來城壁ヲ毀チ數棟ノ家屋ハ除去シ稍々舊觀ヲ失墜ス曩ニ城内ニ縣立中學校ヲ建設シ次チ中央鐵道ノ布設ニ當リ城ノ要部ヲ遮斷セラル本城ハ市役所ヲ距ル北方六丁余

古 府 城 趾

躑躅ヶ崎古城ト稱ス市ノ北端ニ當リ市役所ヲ距ル數十丁昔時武田信虎ノ館趾タリ維新後大ニ敗頽ニ傾クト雖モ先年中公園ト爲スノ計畫アリ爾來城ノ内外ヲ修理シ稍々清淨ヲ極ム城内ニハ日清戰役死者ノ建碑ト武田神社ノ建設アリ而シテ城趾ノ北ニ要害山アリ武田氏カ軍戦上ノ要所トシテ居ヲ構ヘタル古跡ナリ牙城東西三十七間南北十九間西南ヨリ登ル所ニ腰郭帶郭等ノ遺跡アリ又城趾ノ東一二丁畑中ニ武田信玄ノ

墓所アリ城趾ニ遊フモノ必ス此ノ墓所ニ參拜セサルハナシ古城ハ路程宜シキニ適ヒ故ニ衆人常ニ遊觀ス

甲府陣屋趾

市ノ東北富士川町ニアリ市役所ヲ距ル七丁享保年間徳川氏之ヲ置キ專ラ租税ノ事ヲ掌リ訟獄ヲ聽斷シ大小ノ政令ヲ行フ所タリシカ維新後舊建物ハ取拂ヒ現時市ノ小學校トナレリ

(二) 勝地

公園

市ノ東南太田町ニアリ市役所ヲ距ル三丁余一蓮寺舊境内ヲ分割シテ明治九年中之ヲ開設ス一蓮寺ハ始メ甲府城地ニアリテ一條次郎忠頼カ夫人ノ尼寺ナリシカ築城ノ時此地ニ移セシナリ園内ニハ幾多ノ樹木鬱蒼日光ヲ遮リ池邊ニ亭榭ノ設ケアリ要所ニ腰掛ヲ点置シ散策ノ便ニ供ス其東南一面ノ平原廣ク遙ニ富岳ヲ望ミ東北隅ニ稻積神社アリ宇氣母智之命ヲ祀ル園内最モ風光韻致ニ富ミ爽快ノ地タリ常ニ遊覽ノ人絶ユルコトナシ

愛宕山

市役所ヲ距ル八丁北方ニ小丘アリ愛宕山ト云フ背面里垣山大泉寺山等ト山脈相連リ丘上一社アリ成田不動尊ヲ祀ル南ハ富士山ヲ一望シ北ハ八ッ嶽、白嶺、地藏ヶ岳、駒ヶ岳ノ諸高山巍然トシテ屹立シ東西ハ笛吹釜無荒川ノ清流ト縣下諸郡一帯ノ田野ヲ

遠眺シ俯シテハ全市ヲ一瞰ス眞ニ爽快極マレリ庶民好適地トシテ茲ニ遊ブモノ四時絶ユルコトナシ

御嶽新道

本道ハ甲府市ノ北ニ當リ西山梨郡相川村地内和田山ノ阪路ヲ險ユレハ山間ニ一小部落アリ之ヲ過クル數町ニシテ新道ニ出ツ此道以前未開タルヲ以テ山中諸村ノ者常ニ生業タル薪炭ノ販鬻ニ極メテ險路峻坂ヲ踏ミ山谷危險ノ間ヲ昇降スル數里漸ク甲府城市ニ出ツルガ如キ艱難不便ノ地タリ爰ニ於テ巨摩郡猪狩村(今ハ中巨摩郡宮本村)長田圓右衛門ナル人大ニ此不便ヲ痛慨シテ止マヌ適々道路新開ヲ村民ニ議ルモ危疑シテ應セス仍テ奮然私費ヲ抛テ家産ヲ消盡シ獨力新道開鑿ノ舉ヲ企ツ爾后熱心撓マヌ起工ニ罷メ至難多キ溪谷ノ填埋ニ岩角ノ除削ニ盤根榛莽ノ斫リ採リ等克ク其勞劬萬艱ヲ凌キ年余ニシテ志望ヲ達シ斯ニ全ク工成ル實ニ天保十二年ナリ之レヨリ人馬ノ往來運送ノ便容易ニシテ最モ得難キ奇景ヲ探出スルニ至レリ衆皆氏ノ熱誠忽ニシテ大功ヲ奏セシニ驚キ且ツ賞替措ク能ハヌ後チ病ヲ以テ死ス像ヲ石ニ刻ミ新道ノ傍ニ建テ永ク氏ノ偉蹟ヲ表彰ス

今新道ノ風景ヲ略叙セン道ハ終始荒川ノ東岸ニ沿ヒ幾多ノ樹木鬱蒼シ川流清々滾々左右奇巖怪石併立シ就中高砂山、猿岩、鏡石、五月雨岩、瀧見石、寒山拾得岩、駕碓岩、覺圓峰、盃石、仙娥瀧、不動瀧、昇仙橋等ノ絶景相踵キ一變シテ仙境ト化シ覺ヘス快ト呼フ心神快暢其絶佳ナル得モ言ハレサルノ風光ナリ遠近ノ人常ニ節ヲ曳クモノ多シ

新道ヲ過クル廿丁余金櫻神社アリ社殿壯麗美麗ヲ極ム境内ニハ老杉古松森々トシ晝  
尙暗ク同社ハ雄畧天皇ノ十年山宮ヨリ此地ニ遷シ祀リ里宮ト稱ス(山宮ハ今西山榮)  
郡大宮村ナリ祭  
神ハ日本武尊、素盞鳴尊、大己貴命、少名彥名命ノ四座ナリ又境内ニハ黄金ノ花ヲ  
開ク櫻ノ神樹アリ同社ハ毎年舊三月十一日ヨリ十五日ノ間例祭ヲ行フ參詣ノ人群集  
メ甲府市ヨリ本社ニ至ル里程ニ里余ナリ

(三) 神社及佛閣

酒折宮

西山梨郡里垣村ニ在リ縣下ノ古社ニシテ日本武尊ヲ祀ル舊跡ハ本社ヲ距ル四五丁北  
方山中ニアリテ今尙ホ石祠ヲ存ス里俗之ヲ古天神ト云フ後チ此地ニ遷座ス景行天皇  
ノ御宇東夷反ス皇子日本武尊之ヲ征討ス尊東北諸國ヲ經テ常陸ノ國ヨリ巡リテ當國  
ニ入リ此宮ニ止マリ玉フコト年余尊一夕食ニ方リ連歌ヲ詠セラル其歌ニ曰ク

あひむりつくばをすぎて  
いくよるねつる  
ト問フ者侍皆答フル能ハス獨リ燭ヲ秉ルモノ其尾ニ續テ曰ク  
あいなへてよまはあゝのよ  
ひにはとをかを

ト尊大ニ感賞シ玉ヘリト尊去ルニ臨ンテ帶フル所ノ燈袋、刀布、烏布等ヲ留ム今本  
社ノ神寶トシテ之ヲ秘藏セリ  
社殿嚴カニシテ左側ト後方ハ一帯ノ高丘其上ニ老樹森々繁茂シ林内奇石点在シ風光  
頗ル幽雅ナリ「酒折ノ夜雨」トシテ甲斐八景ノ一ニ定ムル勝地タリ境内ニ碑アリ文  
ニ曰ク

酒折宮壽詞

那麻余美乃此甲斐國之此酒折宮者母與經向之  
日代宮御宇天皇命大御代爾倭男具那倭建男天  
下之益荒建男神建男皇子之隨所選賜氏千引石  
之重伎難伎大命乎重浪之頻蒙斯氏西國能无禮  
熊曾乎言向賜比東國之荒振蝦夷乎和賜氏神登  
登母神登宇都會美乃世邇無比伎建伎由斯伎大  
御稜威之天下爾萬代邇天津日登照耀加須宇豆  
能大御子倭男具那倭建神之命之事訖氏大事竟  
氏蜻蛉倭國爾還坐時衣手能常陸乎過足柄御坂  
乎越而御駕刈科野國之御坂神乎多比良宜牟登  
過理坐流其道之其行宮登神隨逗坐氏後世爾片

歌之續歌之事之始登仰那流新治筑波乃大御歌  
乎語斯賜幣流其宮所蹟處登百繼十繼御世者移  
禮杆千年五百年歲者經奴禮杆余呂志那倍宮者  
宇勢世受跡者絕不為今行前母比佐迦多能天津  
日登天津日嗣登倭男兵那倭建神命之無比伎建  
御稜威乃大御名登共運諸共運長良閉且傳理且  
萬代爾常登波爾彌高彌運廣運照將行榮往牟宮  
處蹟處

寬政之三午云歲之正月

伊勢國飯高郡之御民 阿曾美宜長畏 壽白  
弟子阿曾美篤胤齊利 謹 書

又背後ニ曰ク

此大宮乃前神主飯田正房主者毛己登於耶自  
驗屋宇斯之教子爾氏大人之手豆加良少那伎紙  
爾書治比斯此壽詞乎賜波里氏伊加傳石文爾彫  
立氏牟登志斯氏波在部禮杆毛容易加良努舉那  
禮婆其事果佐傳那牟在部流乎今度其子正廣主

其志系紹氏思立奴流乎名取忠貞名取茂樹太田  
寬(此聞不詳) 那杆云人々麻未爾事讓里助

那氏如此那毛嚴伎碑爾立流爾就氏此石爾宜婆  
志久已爾書氏登請遣佐禮多流爾常石爾傳婆里  
行牟此人之有功乎感字牟加斯氏餘里世爾著伎  
已我文乎云拙伎乎毛思波傳如此那乎

天保十三歲十一月

右倭文

平篤胤 識  
男織胤代書

酒折詞碑

日本武尊既平東夷還次甲斐國酒折宮  
此為其舊址有祠享祀不解者千六百有餘年于今  
矣昌貞等不勝景仰三樹石廟庭謹為之銘嗚呼  
尊三靈德千載之八挺之外靡不被其化焉若夫底  
績三著則史藉歷然此事復序銘曰 維神開國皇  
舉其綱要荒未暇逞其強果偉哉 帝子是氏之望  
爰提神躬經營四方梟帥授首蝦夷來王威德所及  
莫不披攘愷旋作詠鄉士之章鏗鏘遺響千載流芳

允文允武盛化洋洋絲絲洪趾寰宇以康  
寶曆十二年壬午夏四月

山縣昌貞謹撰  
加藤翼拜書

八幡神社

本社ハ甲府市ヲ距ル十三丁余北方西山梨郡相川村地内ニアリ譽田別命ヲ祀ル承久年中武田信光初メテ祠ヲ石和ノ郷ニ建ツ永正十六年武田信虎ニ至リ躑躅ヶ崎ノ館西ニ遷シ其后淺野長政ノ時再ヒ此地ニ遷シ祀ル社殿稍廢頽ニ傾クト雖モ巖然トシテ崇フトク境内一面ハ八幡山ノ高處ニアリテ廣ク古松老杉雜樹森々繁茂シ盛夏尙寒冷ヲ覺ユ賽スルモノ心神自ラ清爽快活ヲ極メ其風景頗ル妙趣ノ地タリ

善光寺

本寺ハ定額山ト號シ西山梨郡里垣村ニアリ縣下有數ノ古刹ナリ僧續空ノ開基ニシテ武田晴信之ヲ建立ス時永錄七年ナリ初メ續空信州善光寺ヨリ尊像ヲ遷セシカ後又豊臣秀吉之ヲ送還ス今ノ佛像ハ之ヲ摸造セシモノナリト云フ而シテ同寺ハ曩ニ宮内省ヨリ保存金若干ヲ下賜セララル

大泉寺

本寺ハ萬年山ト號シ西山梨郡相川村ニアリ縣下著名ノ古刹ナリ大永元年武田信虎ノ創立ニシテ天柱和尙ヲ開租トス境内ニ武田信虎、晴信、勝頼ノ廟アリテ僧形ノ木像ヲ安置ス又武田信虎ノ寄附セン日蓮上人眞蹟ノ法華經其他武田氏ノ遺物等多ク寶藏セリ同寺ハ曩ニ宮内省ヨリ保存金若干ヲ下賜セララル

明治三拾七年七月拾日印刷  
全 年七月拾三日發行

〔非賣品〕

編輯者兼 甲府市役所

印刷者 青柳詢一郎

山梨縣甲府市柳町二百三十七番戶

印刷所 芳文堂活版所

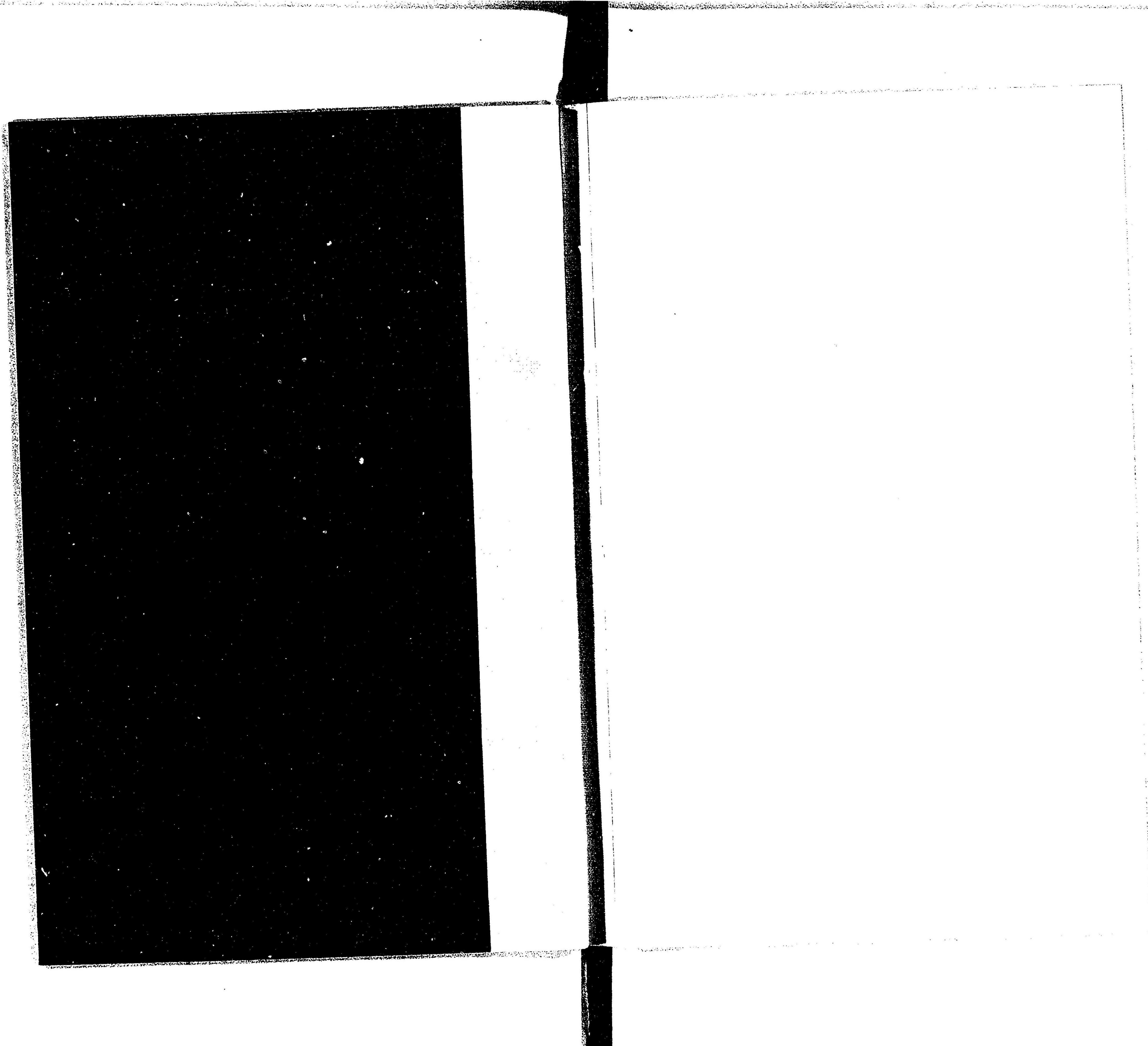
全

所



卅 20 11

Vertical text columns, likely bleed-through from the reverse side of the page. The text is extremely faint and illegible due to the high contrast and grain of the scan.



1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

11

12

13

14

15

16

17

18

19

20

21

22

23

24

25

26

27

28

29

30

31

32

33

34

35

36

37

38

39

40

41

42

43

44

45

46

47

48

49

50

51

52

53

54

55

56

57

58

59

60

61

62

63

64

65

66

67

68

69

70

71

72

73

74

75

76

77

78

79

80

81

82

83

84

85

86

87

88

89

90

91

92

93

94

95

96

97

98

99

100

14.4  
261

甲府市統計一斑  
1  
国立国会図書館

045772-001-9

14.4-261

甲府市統計書 第1, 3, 6回

(明治35, 36, 38, 43, 44年度)

甲府市役所

M37-45

BDS-0954



